

## 都市住民へのアンケート調査結果（中間報告）

## 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

「田園回帰」の全体像を把握するため、「実際に生じている都市部から過疎地域への人口移動」だけでなく、潜在的な「都市住民の農山漁村地域に対する関心の高まり」という局面からも分析する必要がある。

このため、現在、都市に居住する住民に対してアンケート調査を実施し、過疎地域（アンケートでは、住民に分かりやすいよう「農山漁村地域※」とする。）への関心や移住に対する意向等について調査を実施した。

※本アンケート調査において、「農山漁村地域」とは、「都市部から離れており、周辺に農地や森林、海岸等の自然豊かな環境が広がる地域のこと」と定義した。

## (2) 調査の実施方法

## 調査対象

東京都特別区及び政令市に居住する 20 歳～64 歳の在住者 3,000 人

- ・地域（5ブロック）及び年代（5階層）による人口構成比に応じてサンプル数を割付
- ・男女の割付は各ブロック・年代で同数とする

## 調査方法

インターネット調査（ネットリサーチ会社のモニターを対象としたアンケート）

## 実施期間

平成 29 年 1 月

## 調査項目

- ・農山漁村地域に対する意識や関わり（農山漁村に対する印象、農山漁村との関わり等）
- ・農山漁村地域への移住意向（移住意向の有無、移住に必要な条件、移住に対する不安等）
- ・「田園回帰」の促進に向けた施策等（農山漁村地域への移住を後押しする施策等）
- ・回答者属性

## (3) 有効回答数

対象自治体	地域ブロック	北海道・東北・北陸			関東			東海			関西			中国・九州			合計		
	構成都市	札幌市 仙台市 新潟市	さいたま市 千葉市 特別区 横浜市 川崎市 相模原市	静岡市 浜松市 名古屋市	京都市 大阪市 堺市 神戸市	岡山市 広島市 北九州市 福岡市 熊本市													
有効回答数		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	計	162	162	324	761	761	1,522	157	157	314	266	266	532	212	212	424	1,558	1,558	3,116
	20～29歳	30	30	60	147	147	294	29	29	58	52	52	104	41	41	82	299	299	598
	30～39歳	37	37	74	185	185	370	36	36	72	60	60	120	49	49	98	367	367	734
	40～49歳	41	41	82	209	209	418	42	42	84	71	71	142	54	54	108	417	417	834
	50～59歳	34	34	68	152	152	304	33	33	66	55	55	110	44	44	88	318	318	636
	60～64歳	20	20	40	68	68	136	17	17	34	28	28	56	24	24	48	157	157	314

※調査対象の抽出は、上記 5 ブロックで行ったが、次ページ以降の分析に当たっては、「北海道」、「東北」、「関東」、「東海」、「関西」、「中国」、「九州」の 7 ブロックで行った。

## 2. 結果のポイント

### (1) 農山漁村地域との関わり

- 農山漁村地域の出身又は生活経験があると回答した割合は、23.7%である。
- 直近の5年間で農山漁村地域を訪れたと回答した割合は、56.8%であり、その回答の中では、「年に1~2回」の来訪頻度が18.3%で最も割合が高い。
- 農山漁村地域が子育てに適していると回答した割合は、22.9%であり、若い世代でその割合が高い。

### (2) 都市地域での生活に対する満足度と将来的な移住意向

- 現在の都市地域での生活環境について、「満足している」と回答した割合は、84.3%であり、年代別では、60代、地域ブロック別では、中国及び九州でその割合が高い。
- 現在の住まいから別の地域へ移住したいと回答した割合は、24.1%であり、若い世代でその割合が高い。
- 移住先としては、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」及び「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」と回答した割合が4割近くあり、高い割合を占めている。

### (3) 農山漁村地域への移住に対する考え

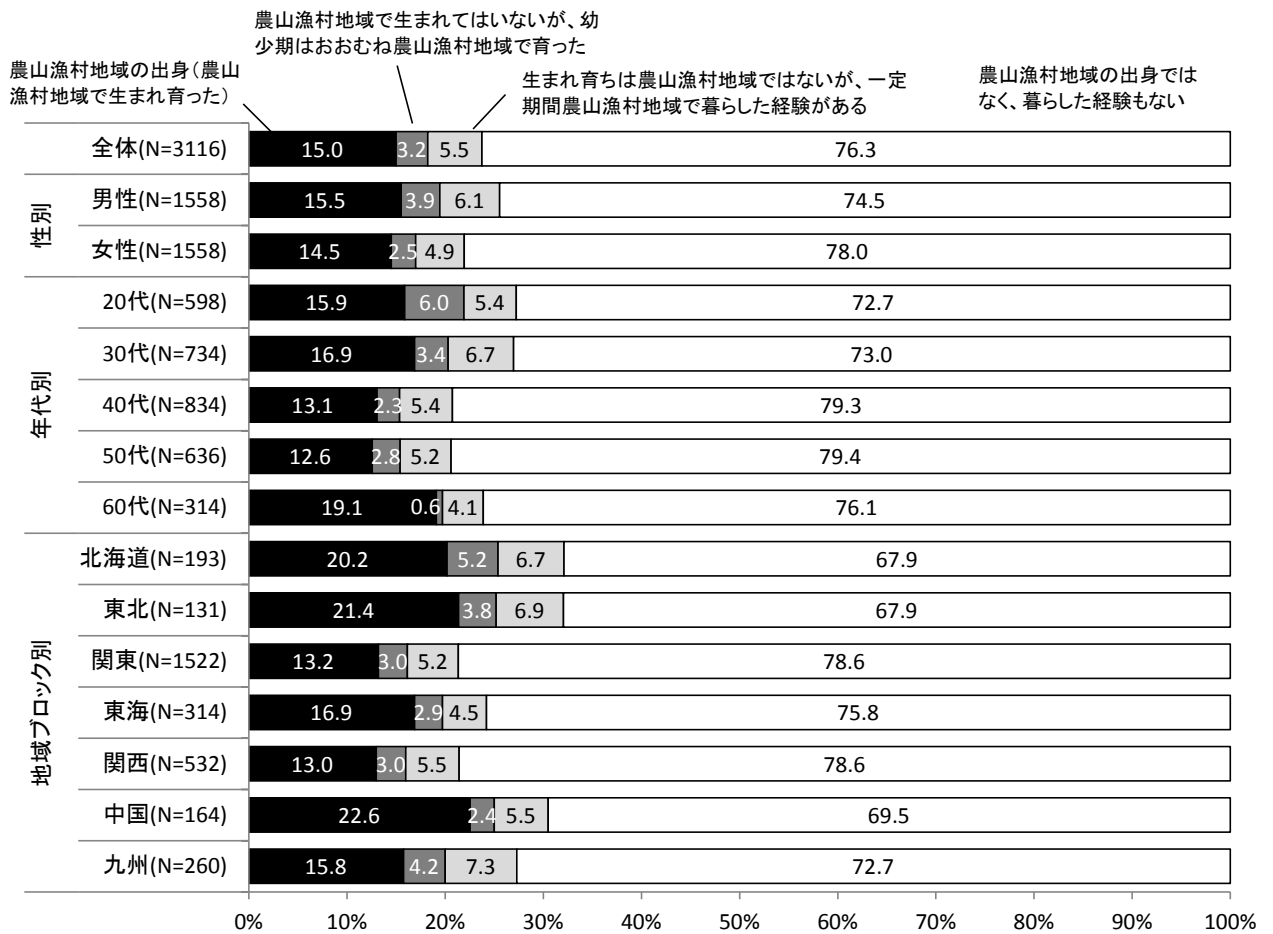
- 農山漁村地域に移住してみたいと回答した割合は、30.6%(以下、「移住意向のある者」とする。)であり、男女別では男性が、年代別では若い世代でその割合が高い。
- 移住意向のある者の移住したい地域を年代別で見ると、若い世代では「自分の出身地」の割合が高く、40代及び50代では「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」の割合が高い。
- また、最も移住を希望するタイミングを年代別で見ると、各年代で「具体的な時期は考えていない」が、最も割合が高く、20代及び30代では「条件を整えばすぐにでも」、40代では「子育てが終わったら」、50代では「自分又は配偶者が退職したら」、60代では「配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら」が続いている。
- 移住意向のある者のうち、移住先での居住期間については、23.2%は定住したいと回答している。その一方で、「ライフステージの各段階で、その時々条件に合う地域を選んで移り住みたい」が29.4%で最も割合が高い。
- 移住意向のある者のうち、移住したい理由としては、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が46.7%で最も割合が高い。次いで、「環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから」が28.3%が続いている。
- 移住意向のある者のうち、移住する上で最も重視する条件については、「生活が維持できる仕事(収入)があること」が55.8%で最も割合が高く、移住に対する不安や懸念においても、「生活を維持していけるだけの収入が得られるか」が59.8%で最も割合が高い。
- 移住意向のある者のうち、移住後、どのような仕事に就きたいかについては、「持っている資格や知識、スキルを活かせる仕事」が26.3%で最も割合が高い。次いで、「役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい」が23.4%と続いている。
- また、移住後に、どのような暮らしをしたいかについては、「趣味やレジャーを楽しみたい」が57.3%で最も割合が高い。次いで、「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」が38.3%で続いており、年代別で見ると、若い世代ほどその割合が高い。
- 農山漁村地域に移住したいと思わない回答者の理由は、「買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから」が55.5%で最も割合が高い。
- 農山漁村地域への移住を促すために必要な自治体の施策としては、「仕事(働き口)の紹介」が34.9%で最も割合が高く、次いで、「お試し居住」などの移住体験」が21.1%が続いている。
- 移住以外の方法による農山漁村地域との今後の関わり方については、「都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい」が23.3%で最も割合が高い。

### 3. 調査結果（概要）

#### （1）農山漁村地域との関わり

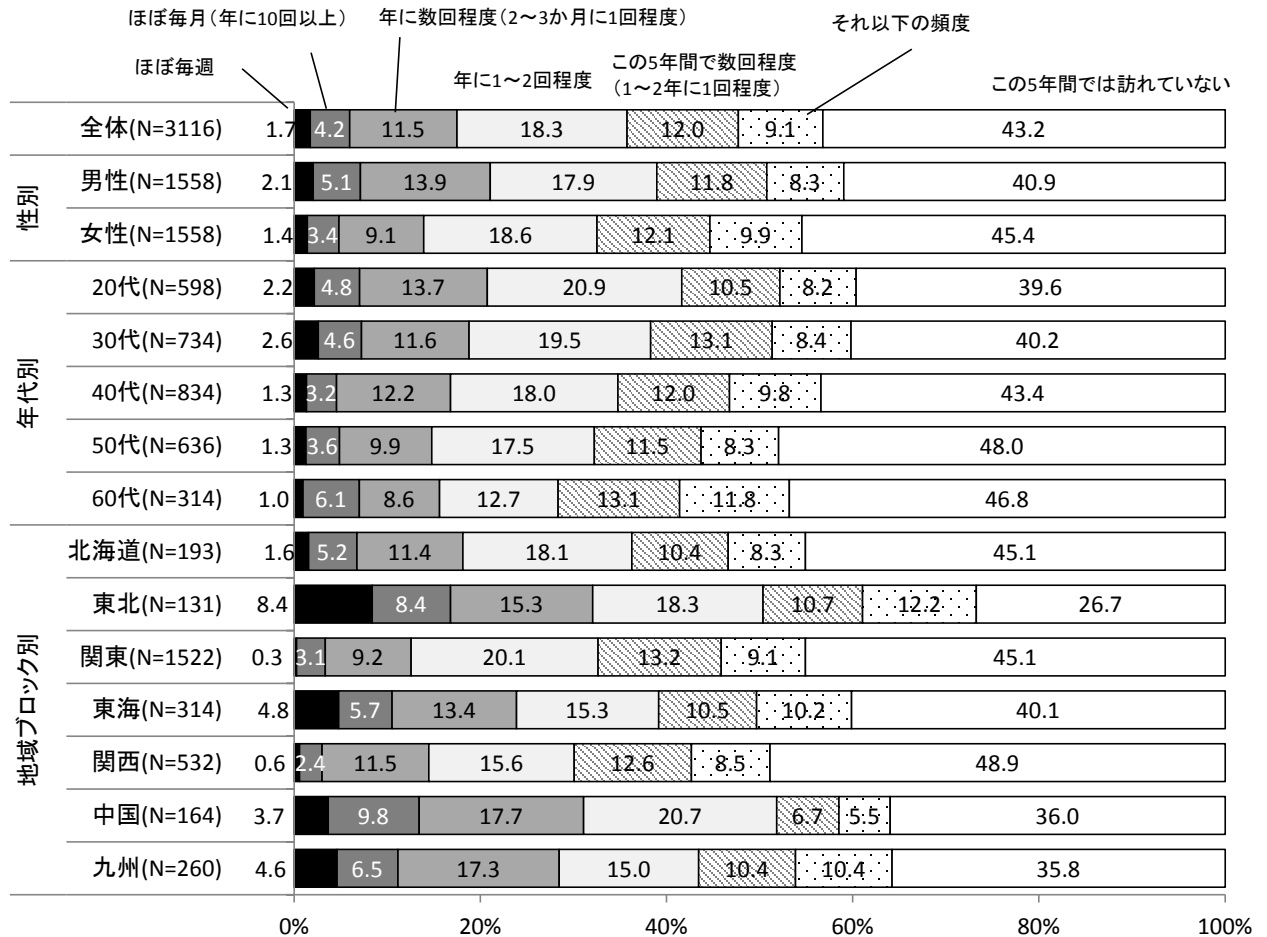
##### 問1. あなたは、農山漁村地域のご出身ですか。（○はひとつ）

- ▶ 全体で、農山漁村地域の出身又は生活経験があると回答した割合は、「農山漁村地域の出身」（15.0%）、「幼少期はおおむね農山漁村地域で育った」（3.2%）及び「一定期間農山漁村地域で暮らした経験がある」（5.5%）の割合を加算した、23.7%となる。
- ▶ 地域ブロック別に比較すると、関東及び関西では、「農山漁村地域の出身」の割合が他のブロックよりやや低い。



問2. あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域をどのくらいの頻度で訪れていますか。(〇はひとつ)

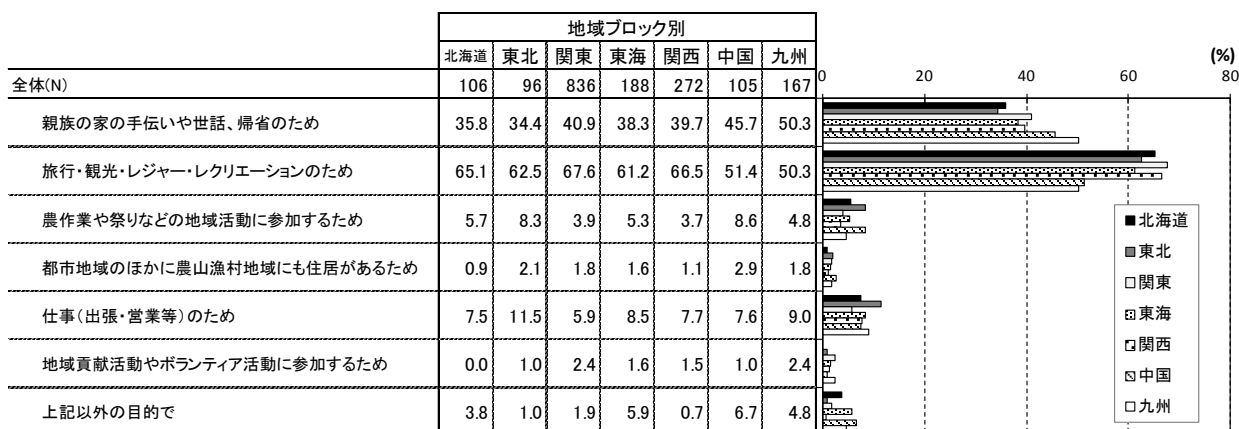
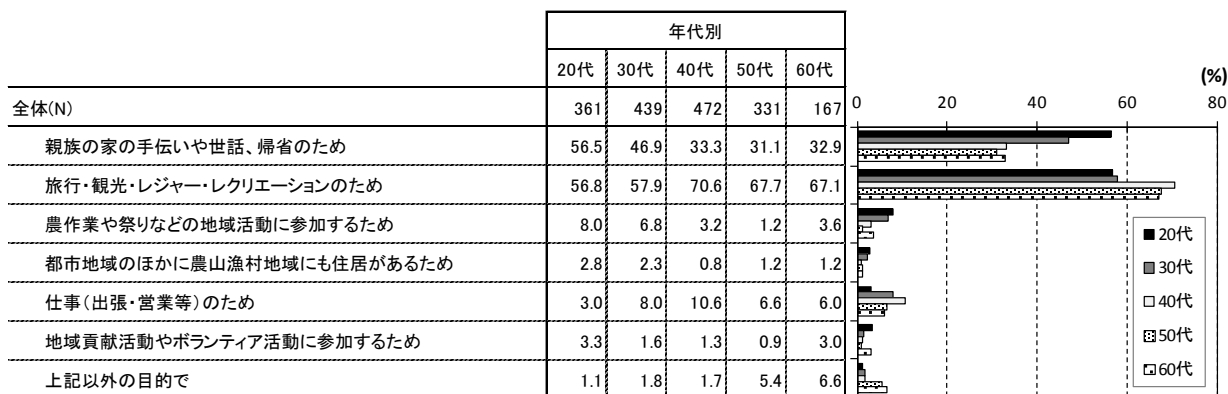
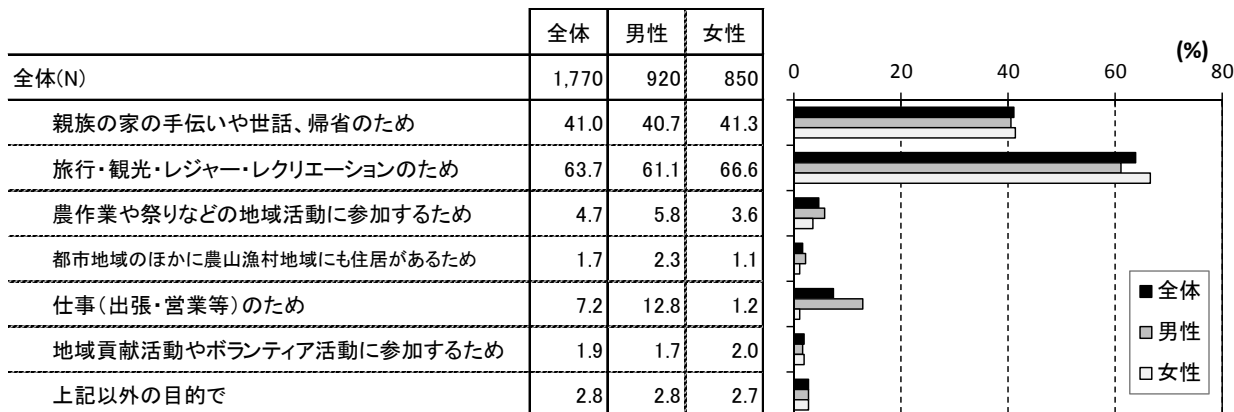
- ▶ 全体で、農山漁村地域を訪れていると回答した割合は「ほぼ毎週」から「それ以下の頻度」までの割合を加算した 56.8%となる。また、農山漁村地域を訪れていると回答した中では、「年に1～2回程度」が 18.3%であり、最も割合が高い。
- ▶ 年代別で見ると、若い年代の方が農山漁村地域を訪れている割合が高く、訪れる頻度の多い回答の割合が高い。



問3. 問2で農山漁村地域を訪れていると回答した方（「ほぼ毎週」から「それ以下の頻度」までの回答者）におうかがいします。

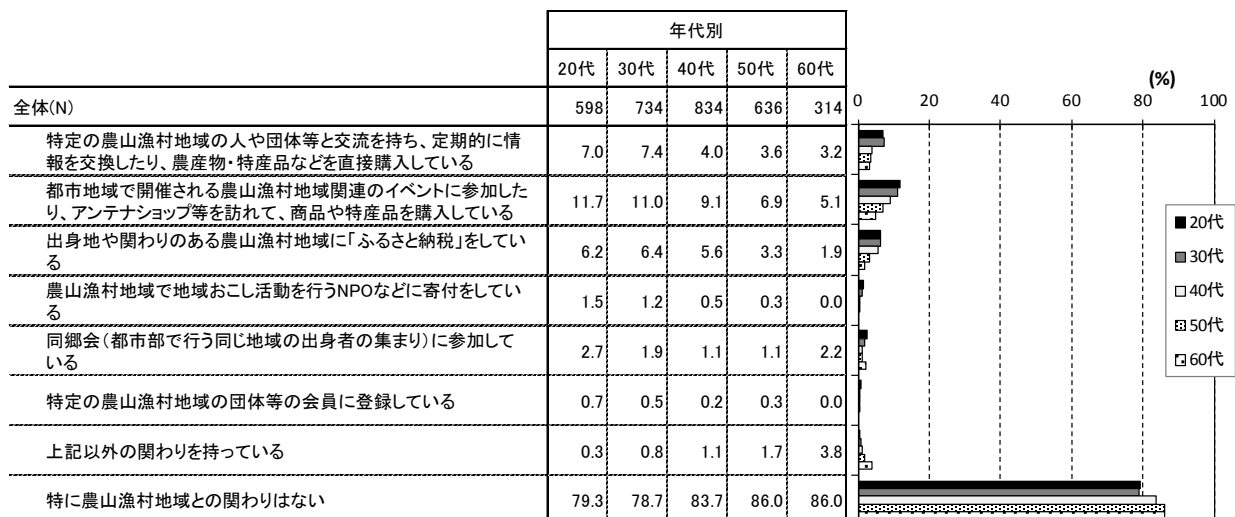
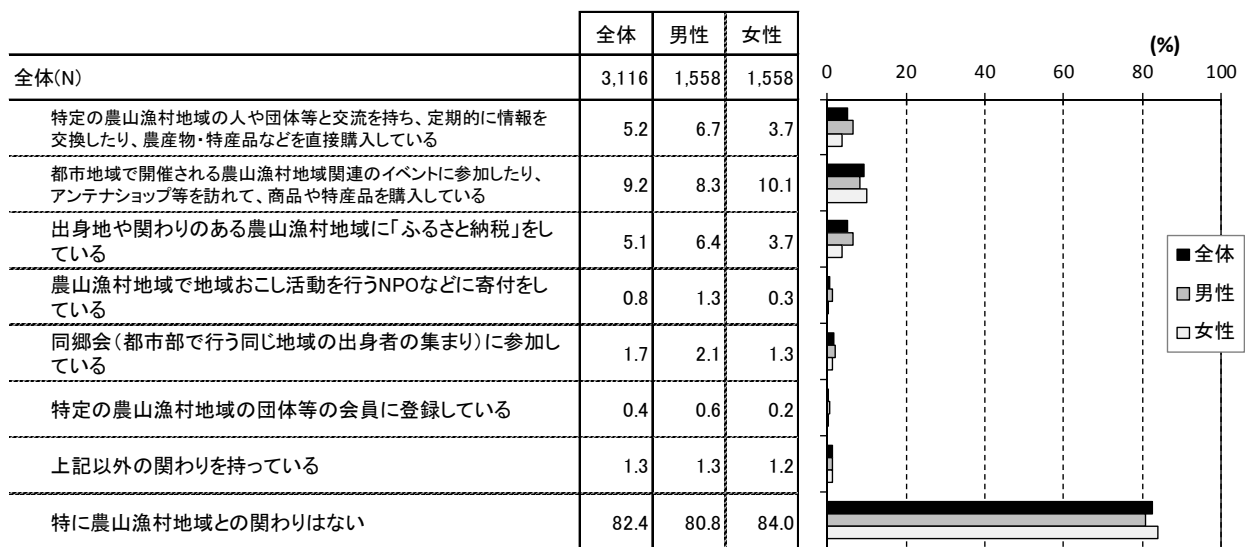
あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。（〇はいくつでも）

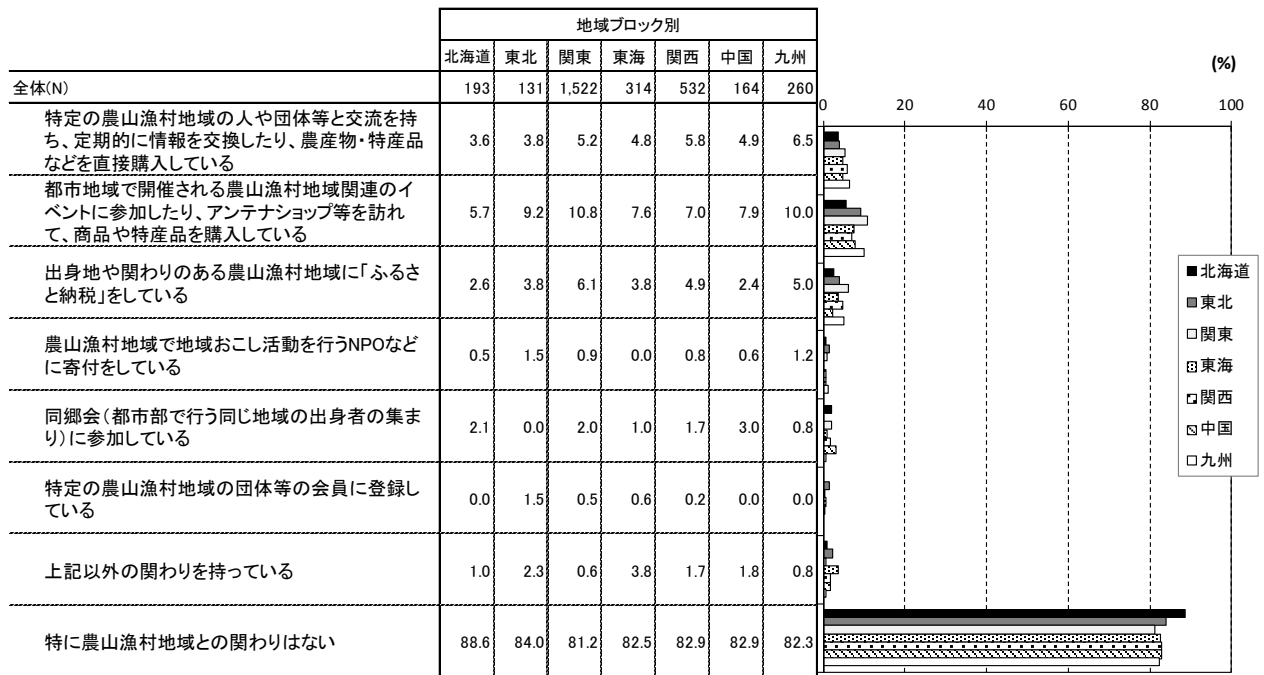
- ▶ 全体では、「旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため」が63.7%で最も割合が高く、次いで、「親族の家の手伝いや世話、帰省のため」が41.0%となっている。
- ▶ 年代別でみると、全ての年代で「旅行・観光・レジャー・レクリエーション」が最も割合が高い。また、20代及び30代では、他の年代と比べ、各項目で割合が高い傾向にある。



**問4. あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域に対して、直接訪れる以外に何か関わりを持っていますか。**  
(〇はいくつでも)

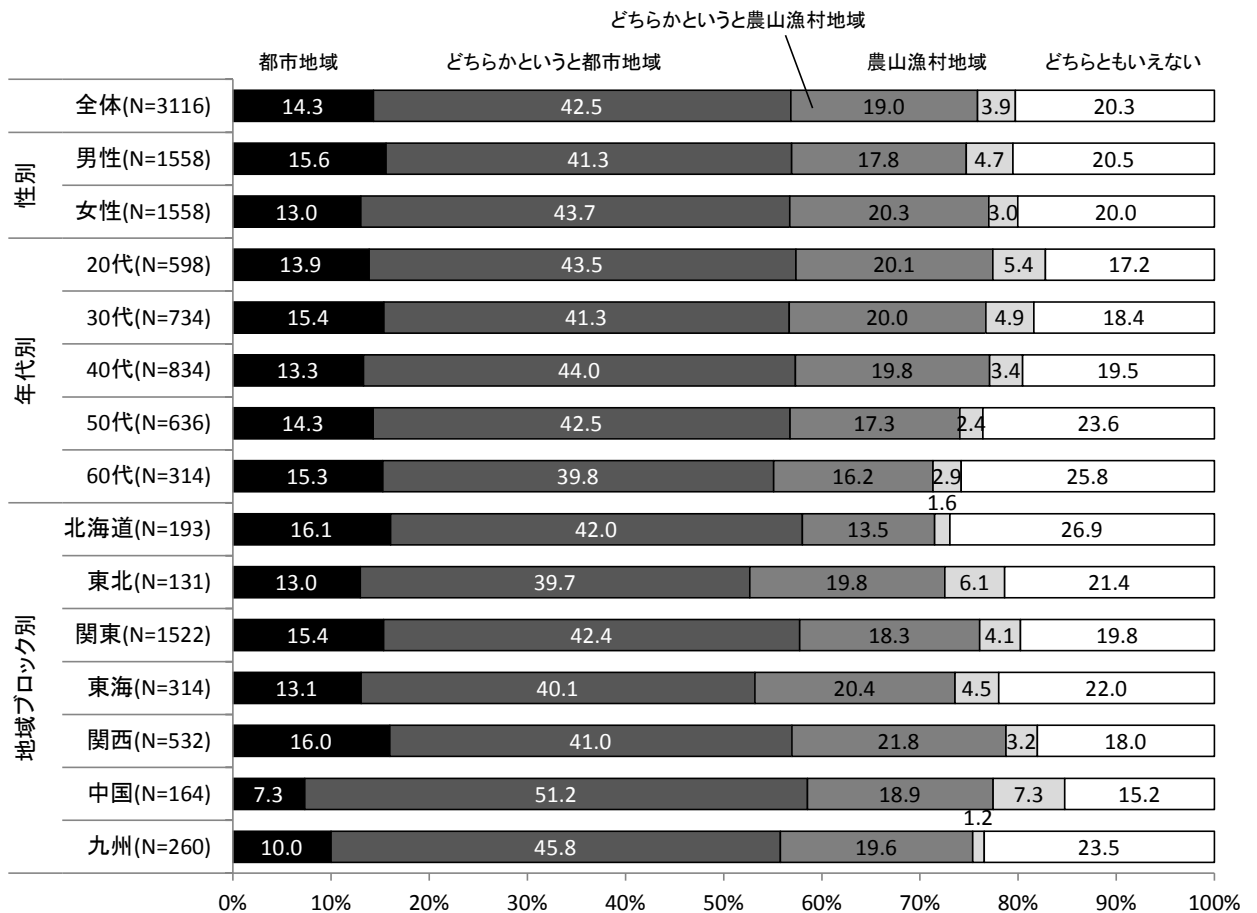
- ▶ 全体で、関わりがあると回答の中では、「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している」が9.2%と最も割合が高い。
- ▶ 年代別でみると、若い年代ほど関わりを持つと回答した割合が高い傾向にある。
- ▶ 地域ブロック別でみると、関東ブロックでは「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している」(10.8%)及び「出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている」(6.1%)が他の地域ブロックの割合と比べるとやや高い。





問5. あなたは、子育てに適しているのは都市地域だと思いますか、それとも農山漁村地域だと思いますか。  
(〇はひとつ)

- ▶ 全体で、農山漁村地域が子育てに適していると回答した割合は、「農山漁村地域」(3.9%)及び「どちらかという農山漁村地域」(19.0%)を合わせた22.9%となる。
- ▶ 年代別でみると、20代及び30代では、農山漁村地域が子育てに適していると回答している割合が他の年代よりも高い。

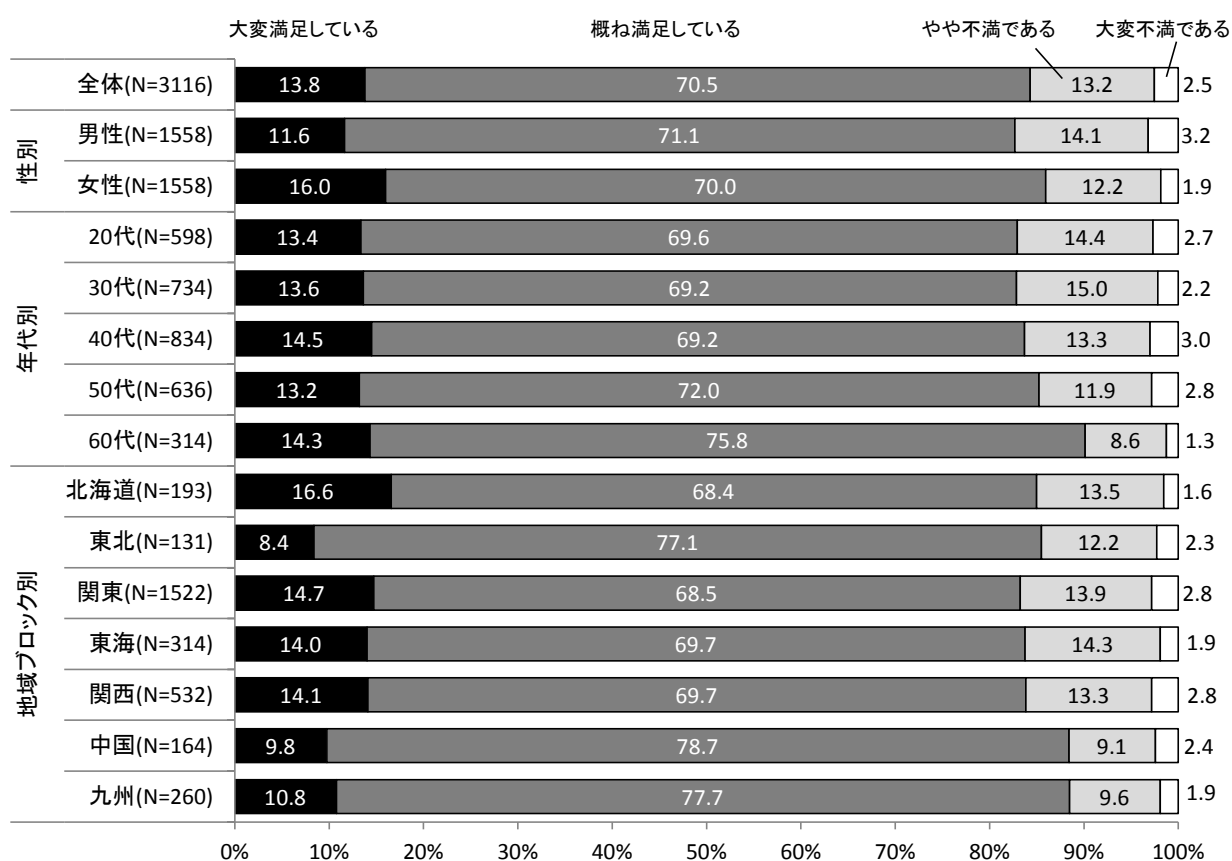




## (2) 都市地域での生活に対する満足度と将来的な移住意向

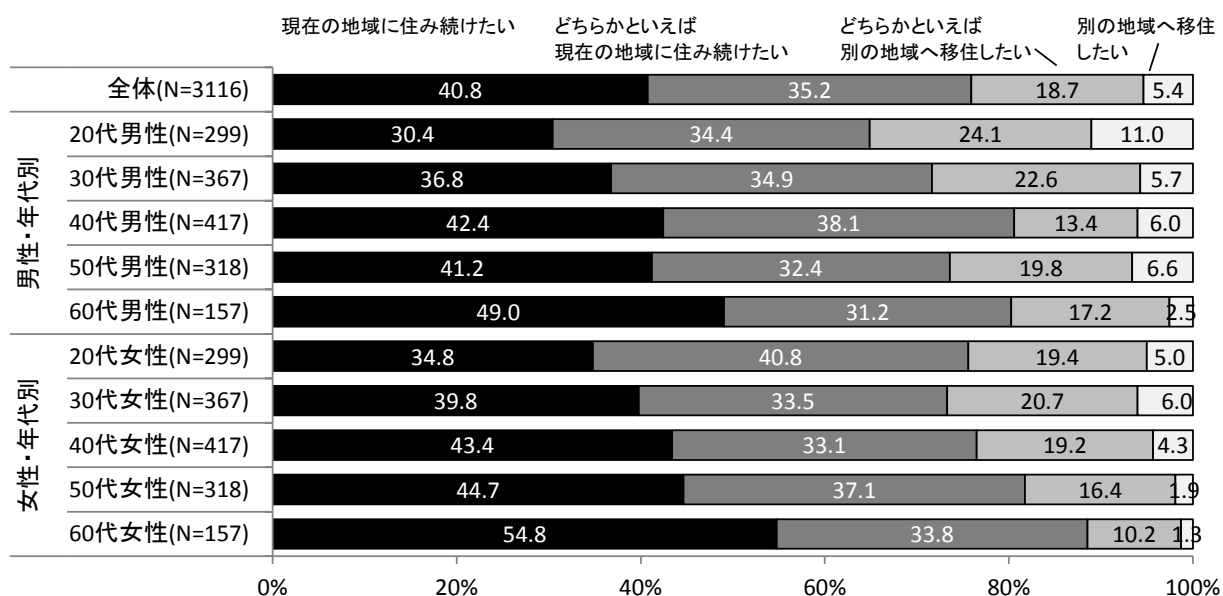
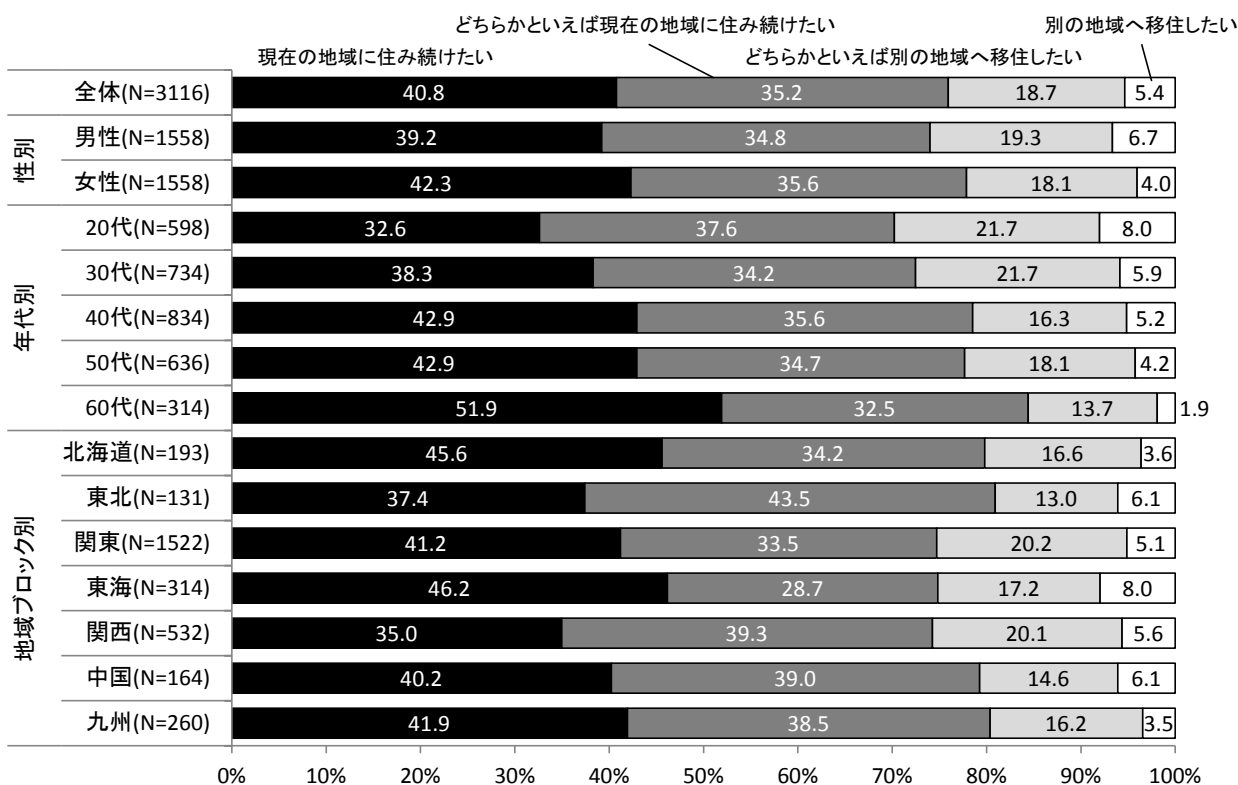
### 問6. あなたは、現在お住いの地域の生活環境に満足していますか。(〇はひとつ)

- ▶ 全体で、満足していると回答した割合は、「大変満足している」(13.8%)及び「概ね満足している」(70.5%)を加算した84.3%となる。
- ▶ 男女別でみると、女性の方が男性よりも満足と回答した割合が高い。
- ▶ 年代別でみると、年代が高くなるほど、満足と回答した割合が高い。その一方で、若い年代ほど不満があると回答した割合が高い。
- ▶



問7. あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか、それとも別の地域へ移住したいですか。(〇はひとつ)

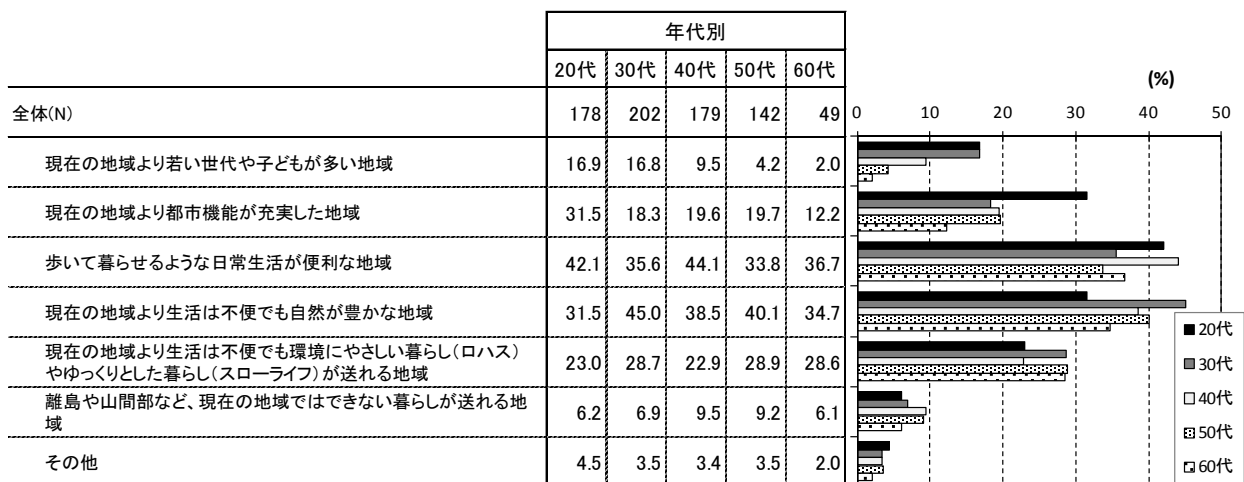
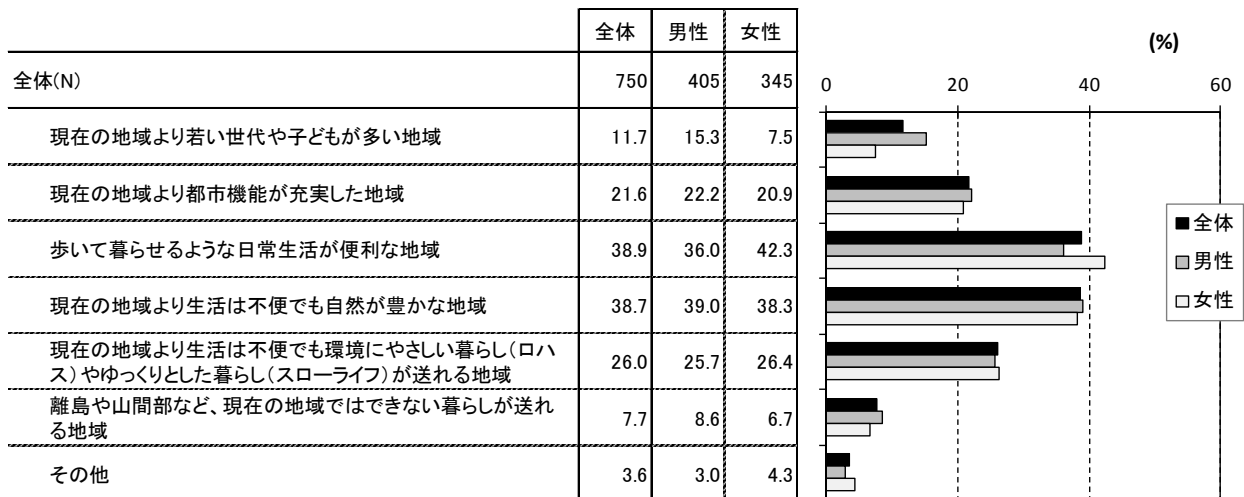
- ▶ 全体で、移住したいと回答した割合は「別の地域へ移住したい」(5.4%)と「どちらかといえば別の地域へ移住したい」(18.7%)を合わせた24.1%となる。
- ▶ 男女別でみると、男性の方が女性よりも移住したいと回答した割合がやや高い。
- ▶ 年代別でみると、若い年代ほど、移住したいと回答した割合が高い。その一方で、年代が高くなるほど、住み続けたいと回答する割合が高い。
- ▶ 地域ブロック別でみると、関東、東海及び関西では移住したいと回答した割合が25%以上あり、他の地域ブロックと比べると割合が高い。

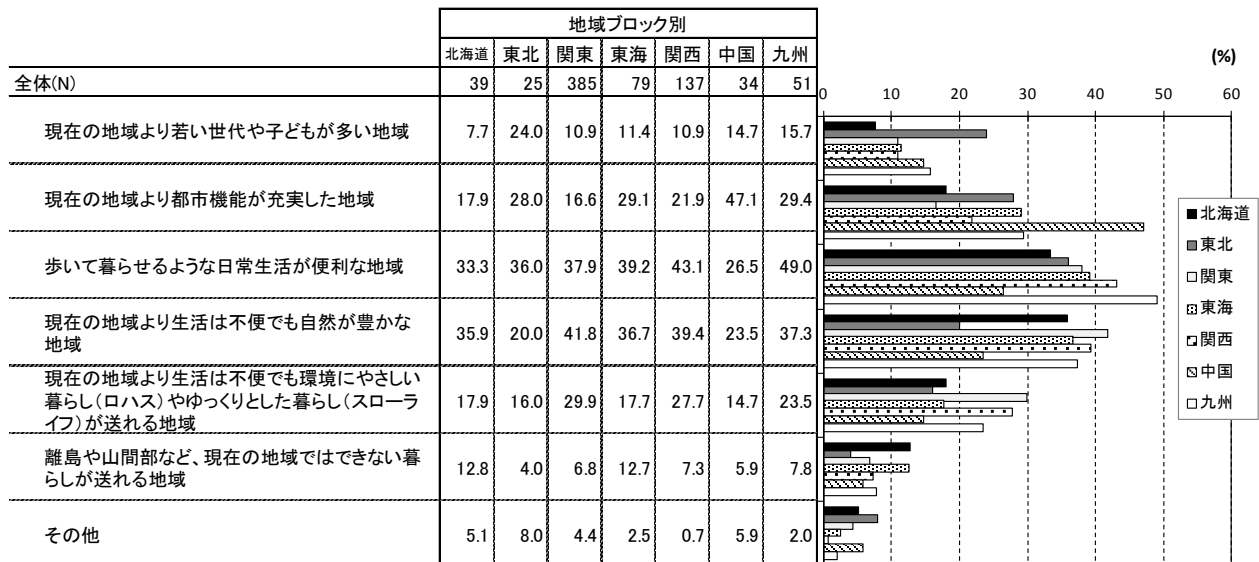


問8. 問7で「どちらかといえば別の地域へ移住したい」又は「別の地域へ移住したい」と回答された方にお  
うかがいします。

現在の地域との比較で考えた場合、どのような地域に移住をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ▶ 全体では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」及び「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」が4割近くあり、高い割合を占めている。
- ▶ 男女別でみると、女性は「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」(42.3%)が最も割合が高く、男性は「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」(39.0%)が最も割合が高い。
- ▶ 年代別でみると、20代及び40代では、「歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域」が4割以上あり、30代では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」が45%で、他の年代に比べ割合が高い。
- ▶ 地域ブロック別でみると、関東と関西では、「現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域」が約4割あり、高い割合を占めている。また、中国ブロックでは「現在の地域より都市機能が充実した地域」が47.1%あり、他のブロックと比べ最も割合が高い。

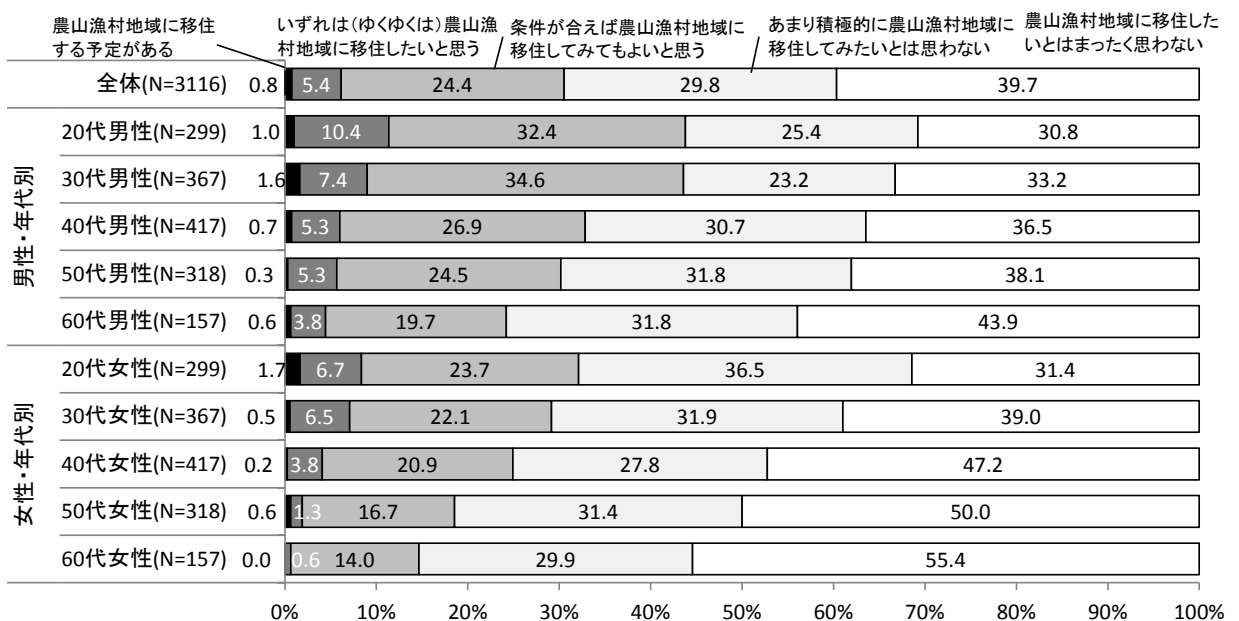
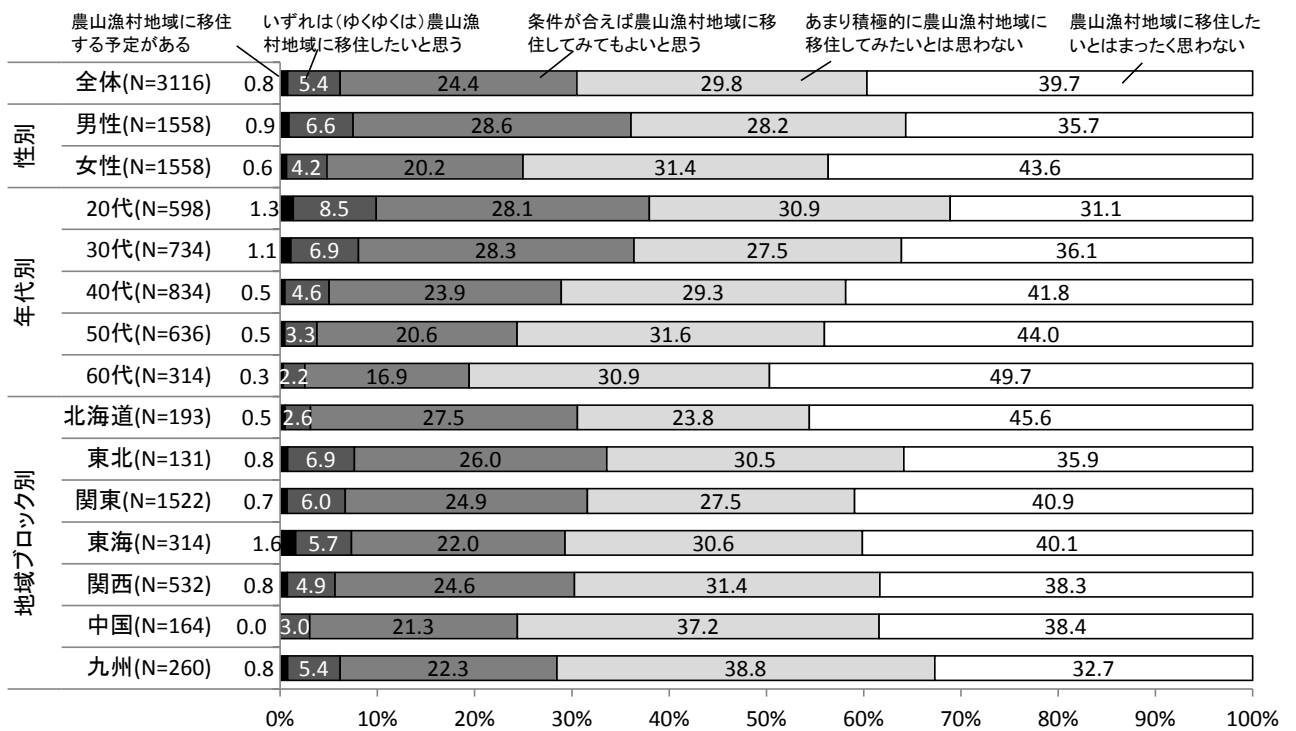




### (3) 農山漁村地域への移住に対する考え

問9. あなたは、農山漁村地域に移住してみたいと思いますか。あなたご自身のお考えとしてお答えください。  
(○はひとつ)

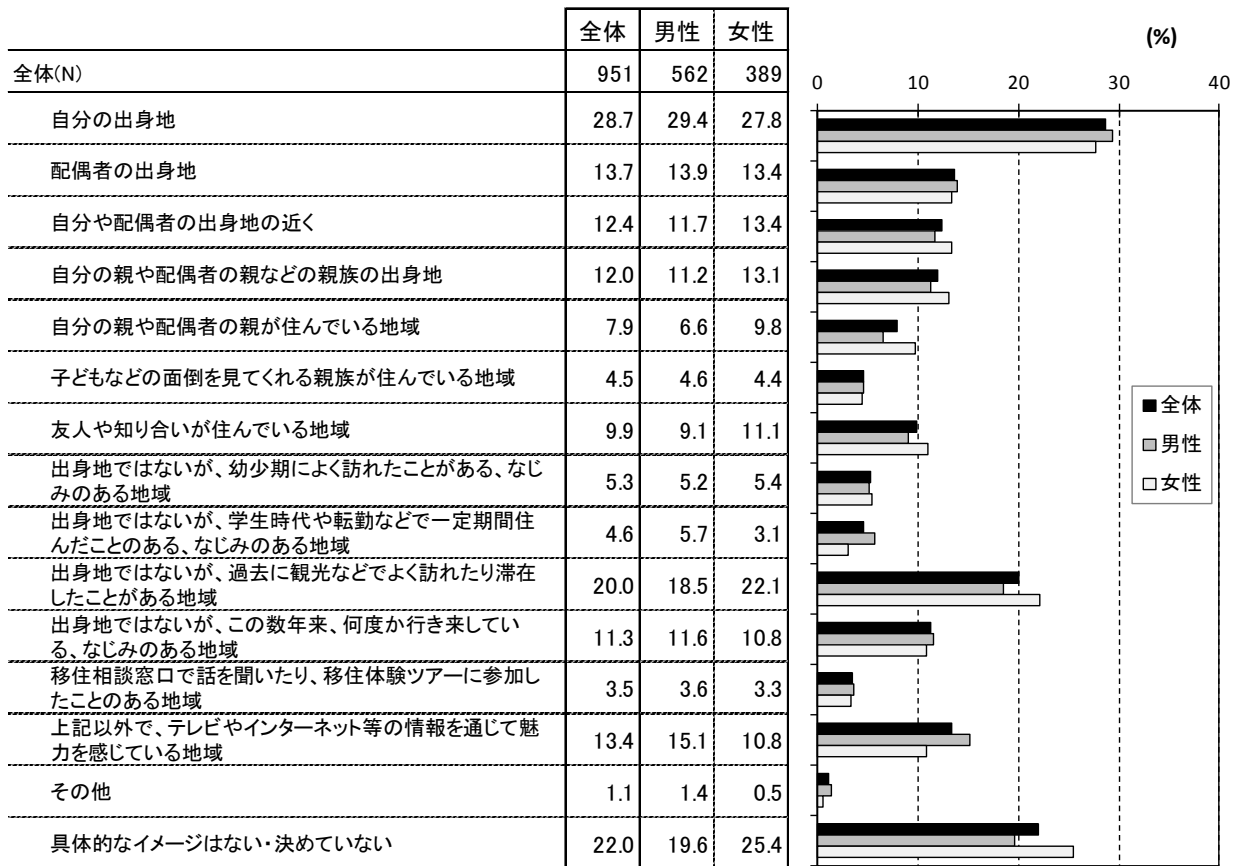
- ▶ 全体で、農山漁村地域に移住してみたいと回答した割合は「移住する予定がある」(0.8%)、「いずれは(ゆくゆくは)移住したい」(5.4%)と「条件が合えば移住してみてもよい」(24.4%)を加算した30.6%となる。
- ▶ 男女別で見ると、男性の方が女性よりも農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。
- ▶ 年代別では、若い世代の方が、農山漁村地域へ移住してみたいと回答した割合が高い。
- ▶ 地域ブロック別で見ると、北海道、東北、関東及び関西では、農山漁村地域へ移住したいと回答した割合が3割以上ある。

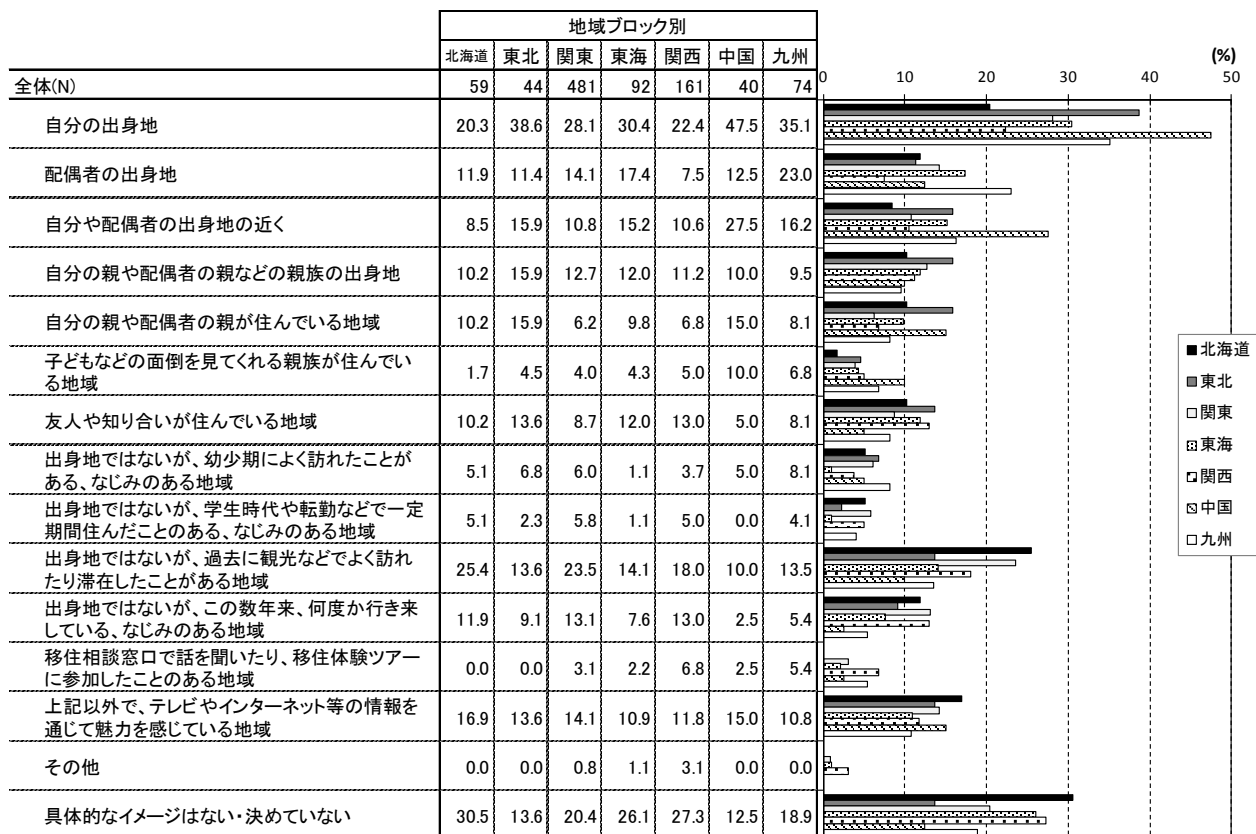
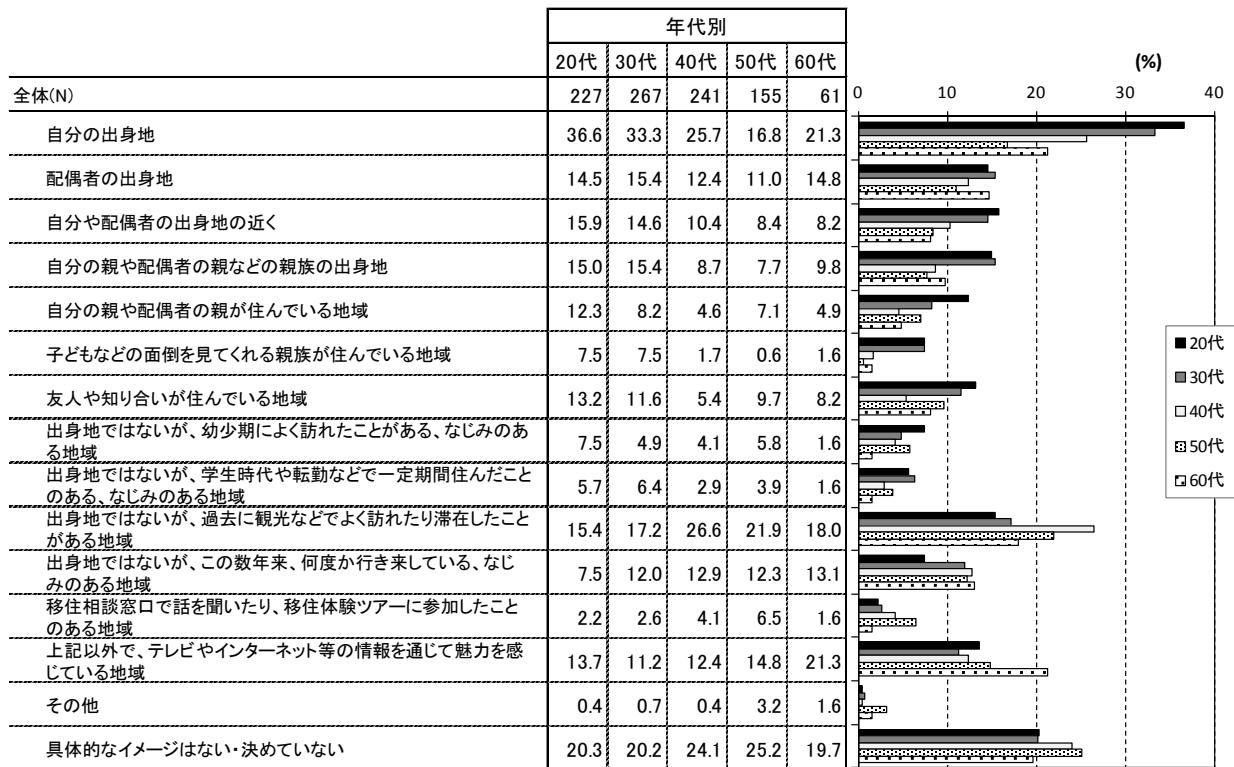


【以下、問 10～問 17 は、問 9 で農山漁村地域への移住意向を示した人のみ】

問10. あなたが移住したい（移住を予定している）農山漁村地域はどのような地域ですか。（〇はいくつでも）

- ▶ 全体では、「自分の出身地」の回答が 28.7%で最も割合が高く、次いで、「具体的なイメージはない・決めていない」が 22.0%、「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」が 20.0%と続いている。
- ▶ 年代別で見ると、若い世代では「自分の出身地」を回答する割合が高く、40代及び50代では「出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域」の回答が他の年代に比べ高い。

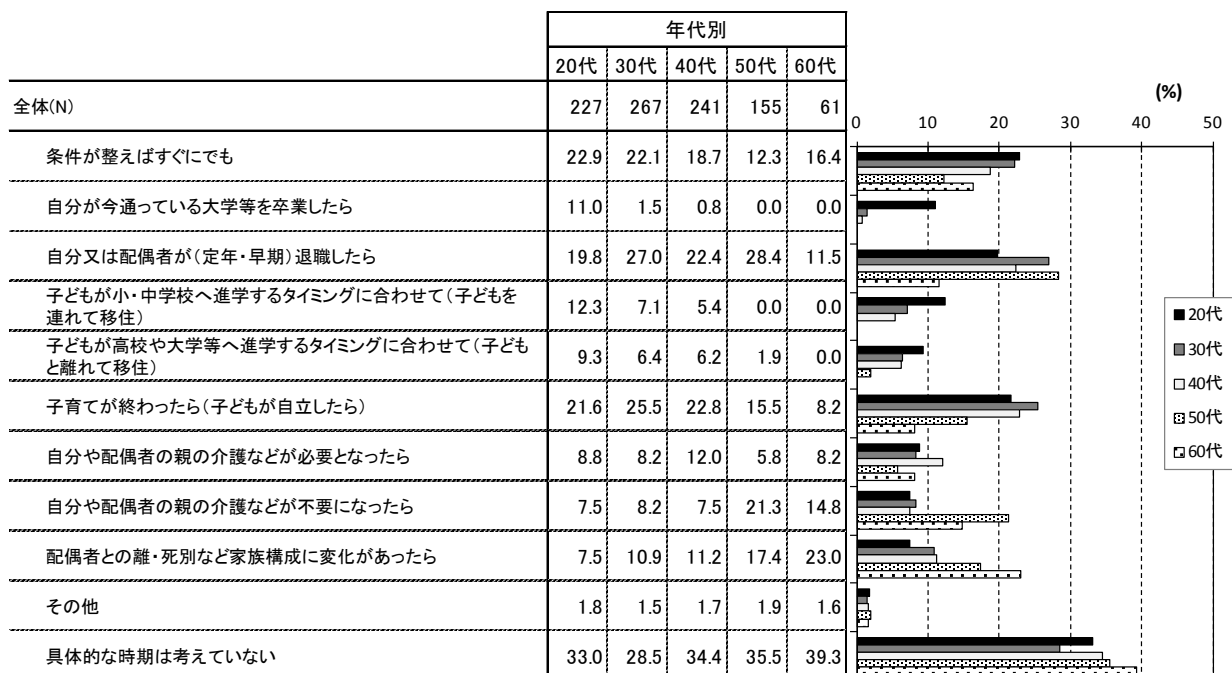
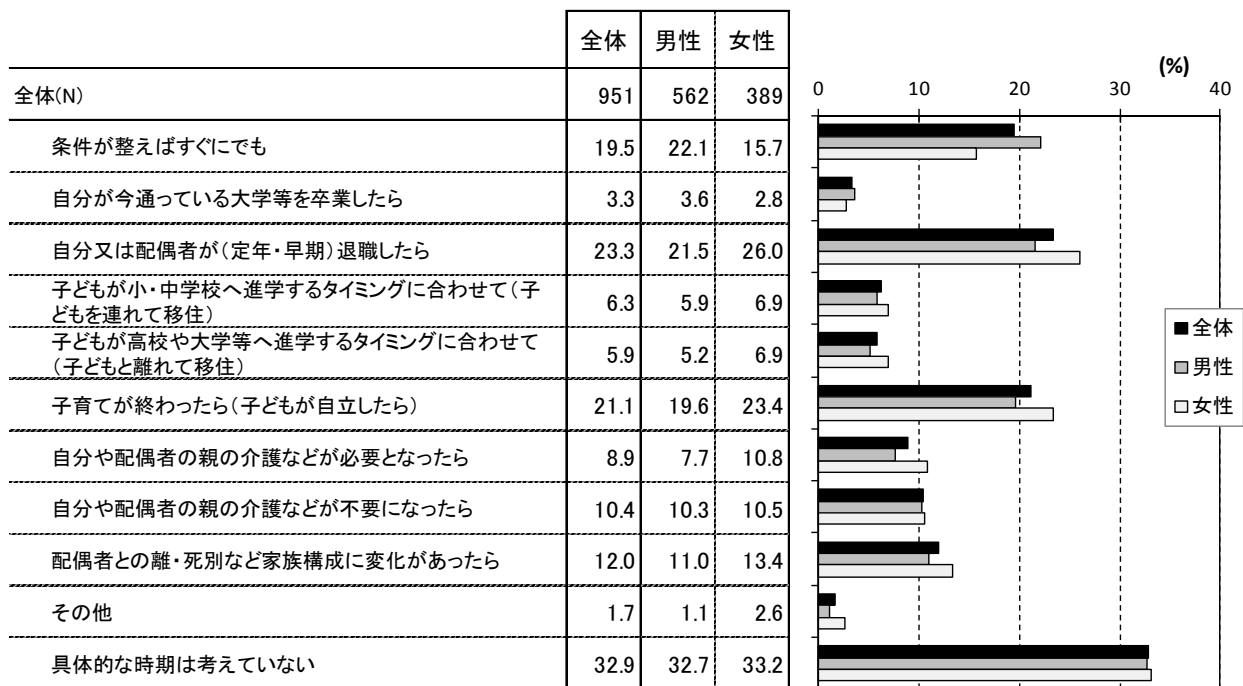




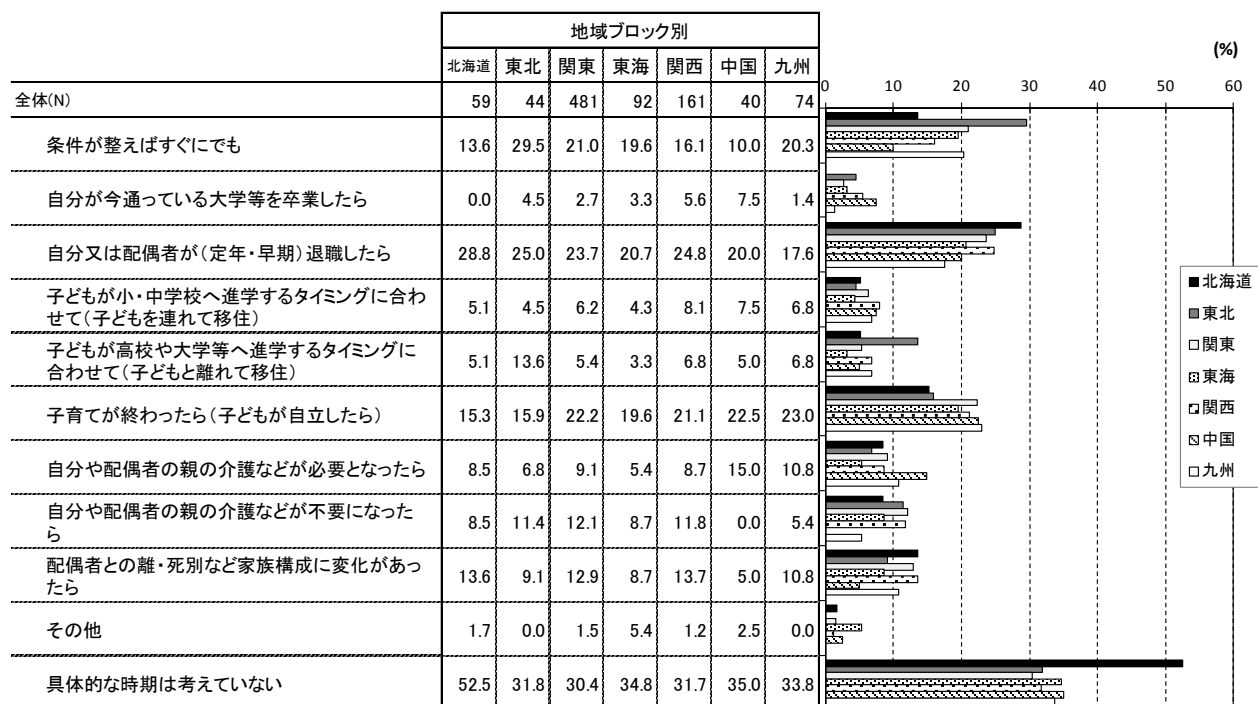
問11. あなたは、いつ頃（どのようなタイミングで）農山漁村地域への移住を実現したいとお考えですか。

1. 農山漁村地域への移住を考えているタイミングについてすべて挙げてください。（〇はいくつでも）
2. その中で、あなたが最も希望する移住のタイミングをひとつ選んでください。（〇はひとつ）

- ▶ 全体では、「具体的な時期は考えていない」が 32.9%で最も割合が高く、次いで、「自分又は配偶者が退職したら」が 23.3%、「子育てが終わったら」が 21.1%となっている。
- ▶ 男女別で見ると、男性では「条件が整えばすぐにでも」が最も高く、女性では「自分又は配偶者が退職したら」が最も高い。
- ▶ ブロック別で見ると、北海道では「具体的な時期を考えていない」が5割以上あり、他のブロックと比べて最も割合が高い。

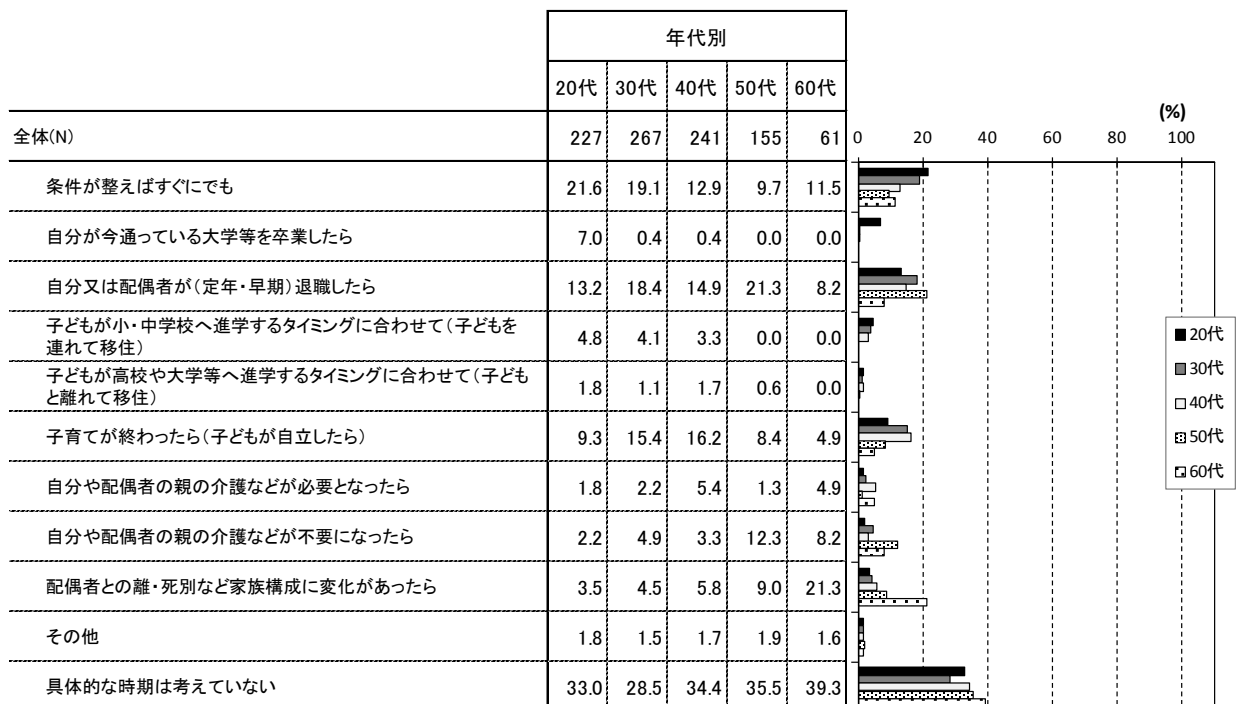
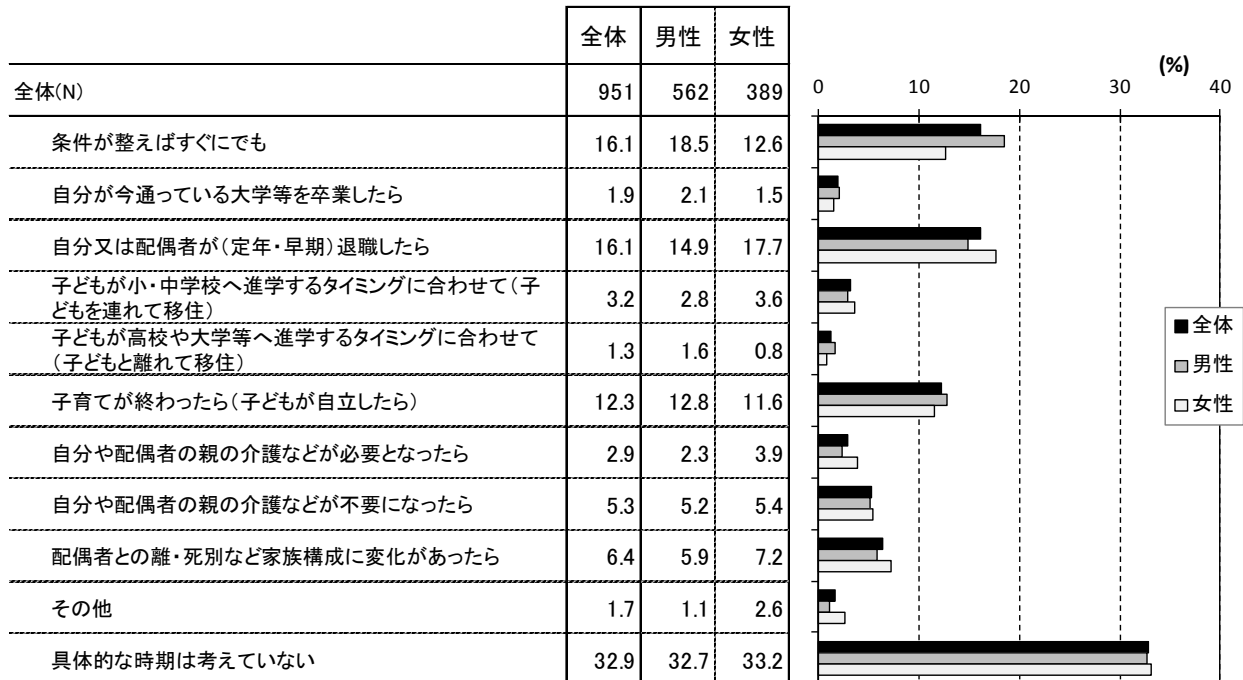


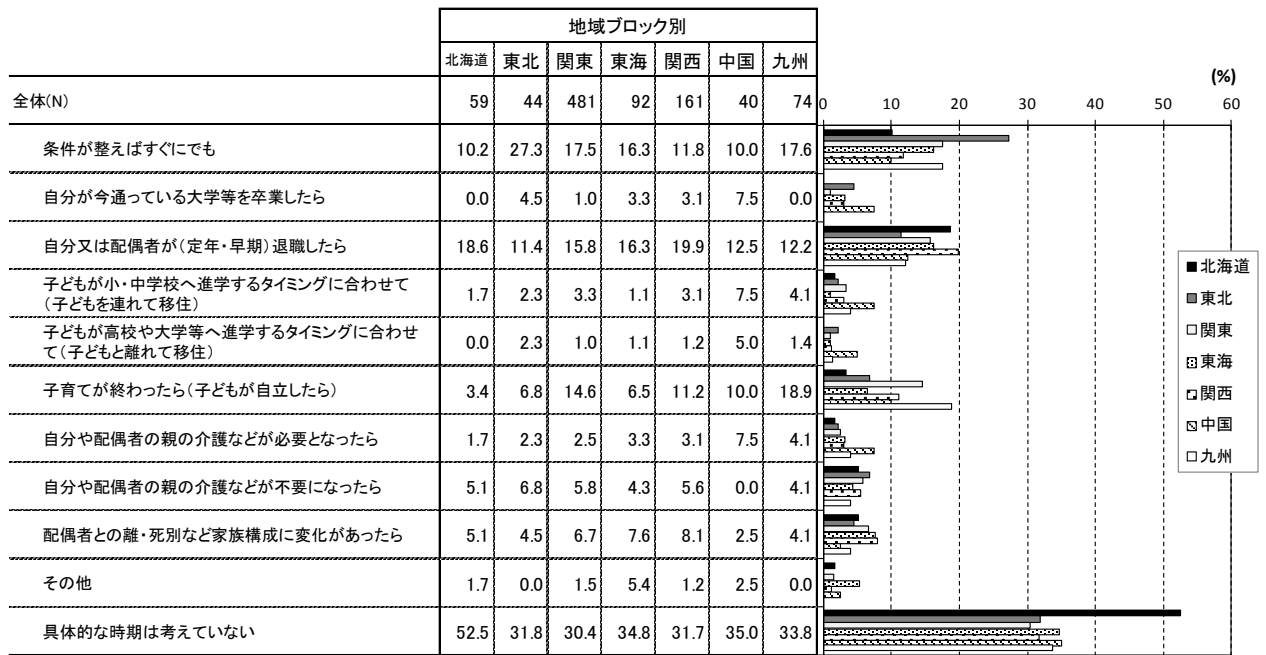




2. その中で、あなたが最も希望する移住のタイミングをひとつ選んでください。(〇はひとつ)

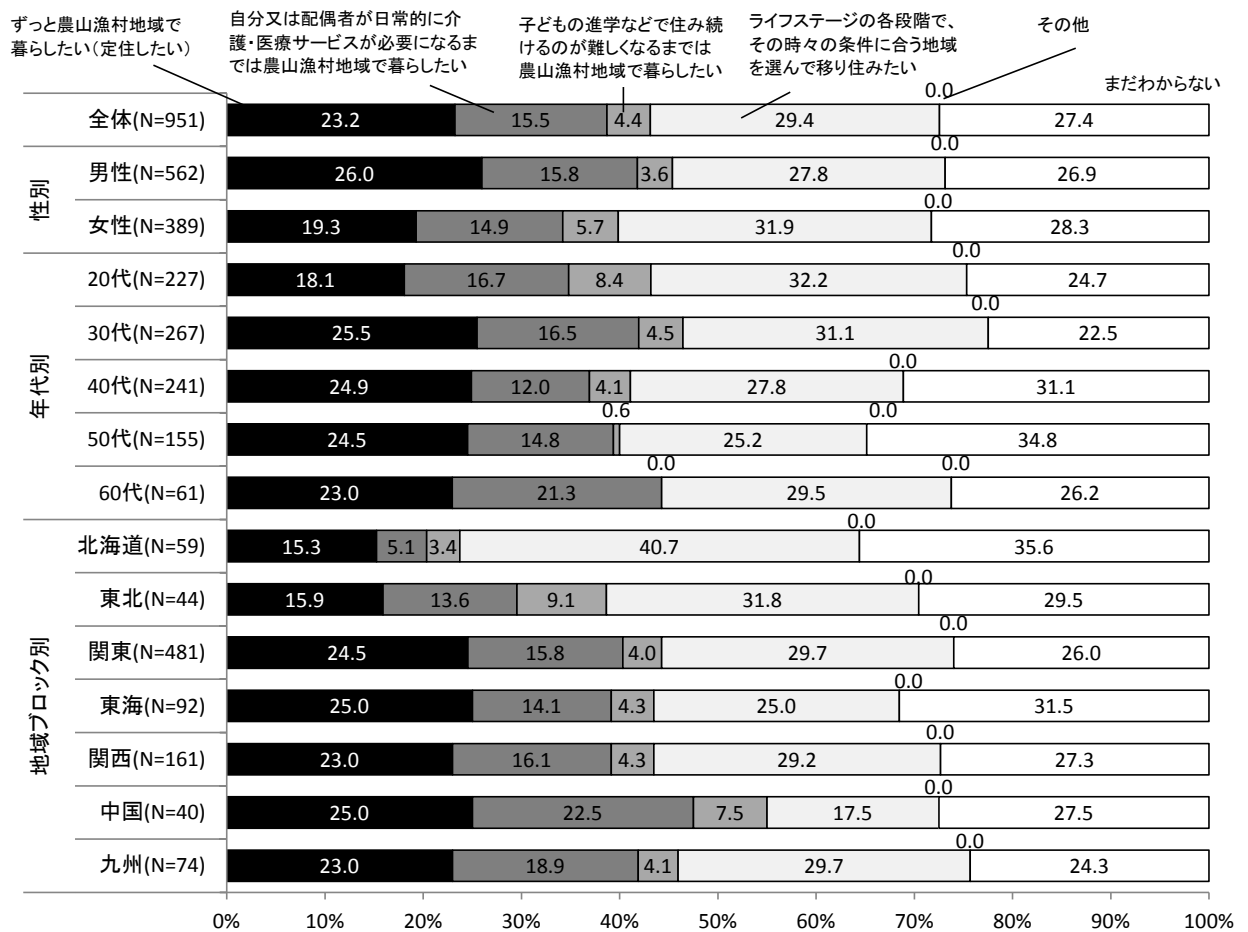
- ▶ 年代別でみると、「具体的な時期は考えていない」を除くと、20 及び 30 代では「条件を整えばすぐにでも」、50 代では「自分又は配偶者が退職したら」、40 代では「子育てが終わったら」、60 代では「配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら」の割合が最も高い。
- ▶ 地域ブロック別でみると、東北では「条件を整えばすぐにでも」の回答が 27.3%あり、他のブロックと比べて割合が高い。





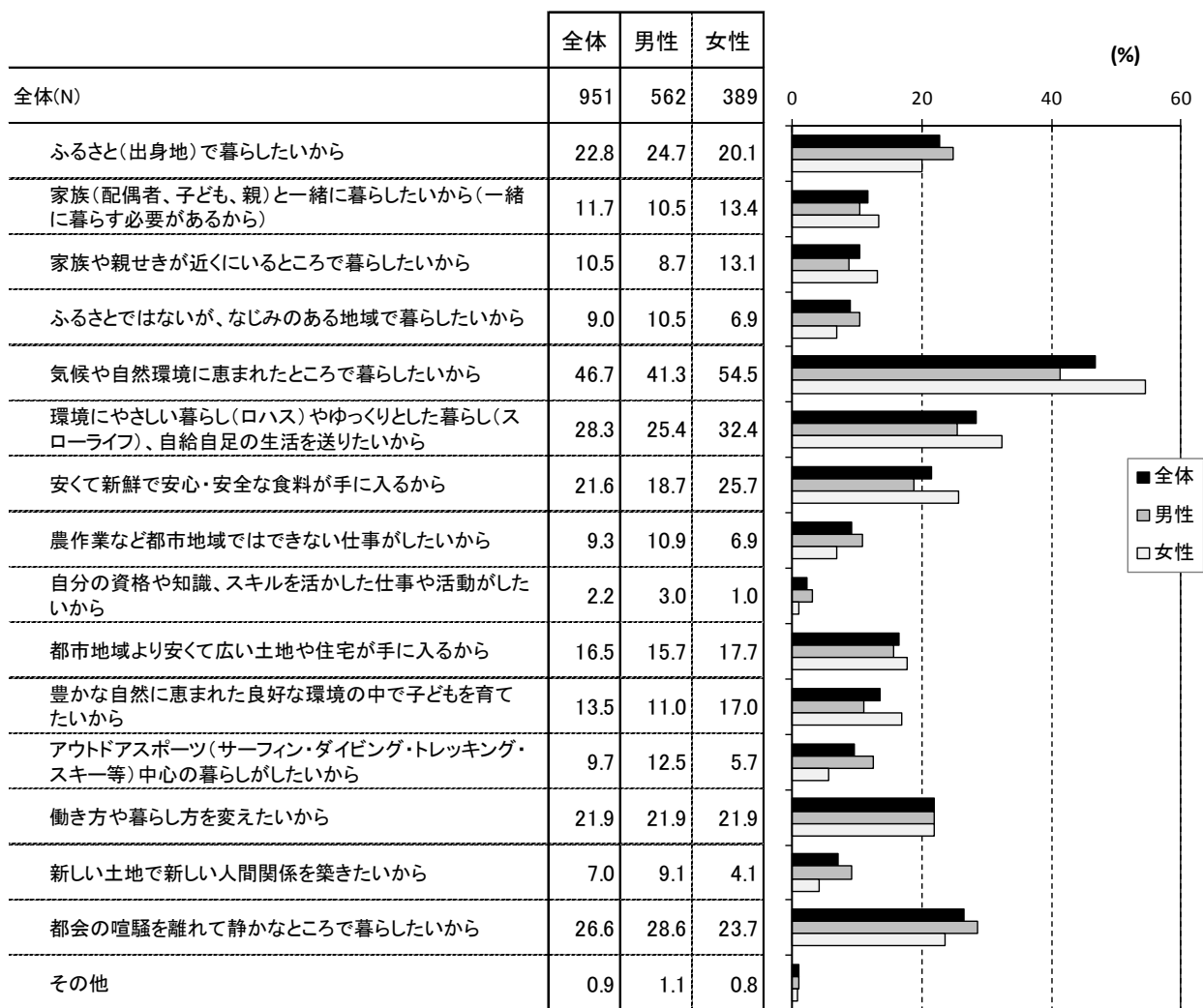
問12. あなたは、農山漁村地域に移住した場合、移住先ではどのくらい住む予定ですか。(〇はひとつ)

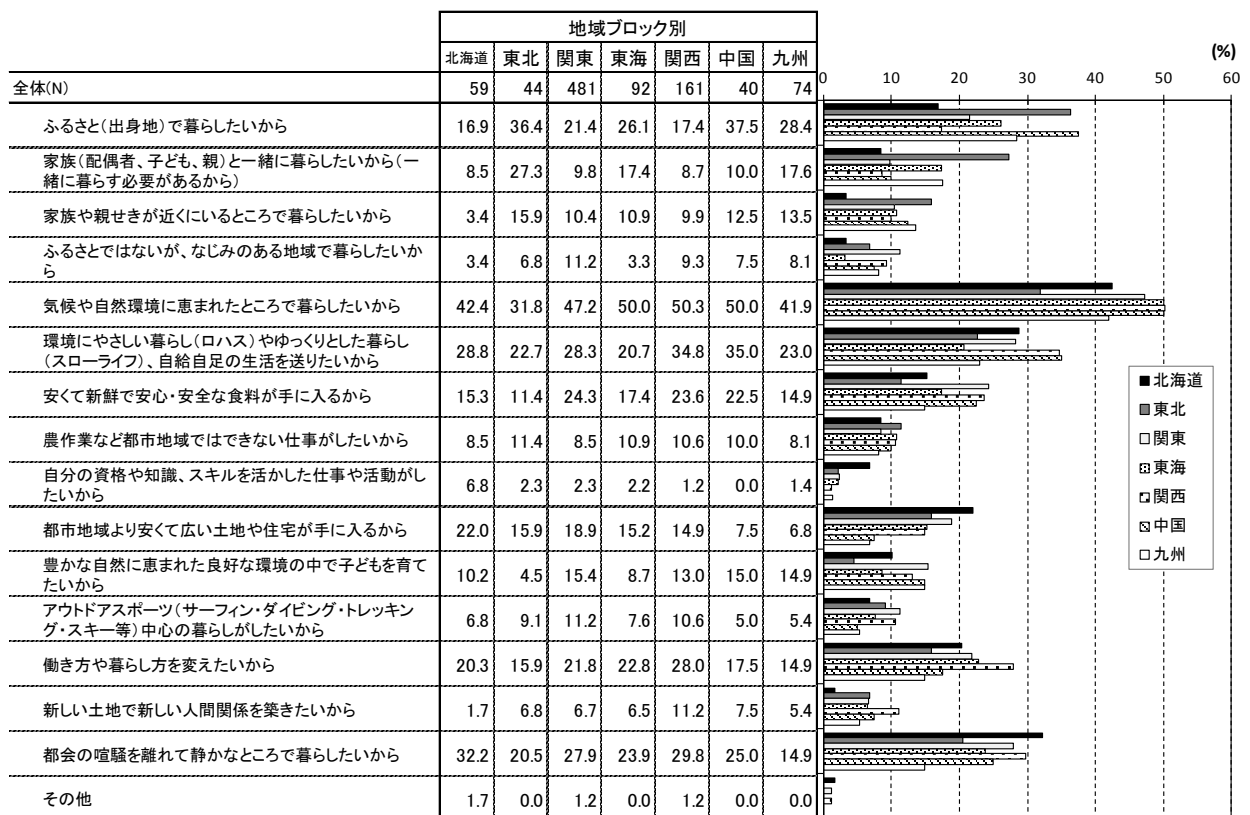
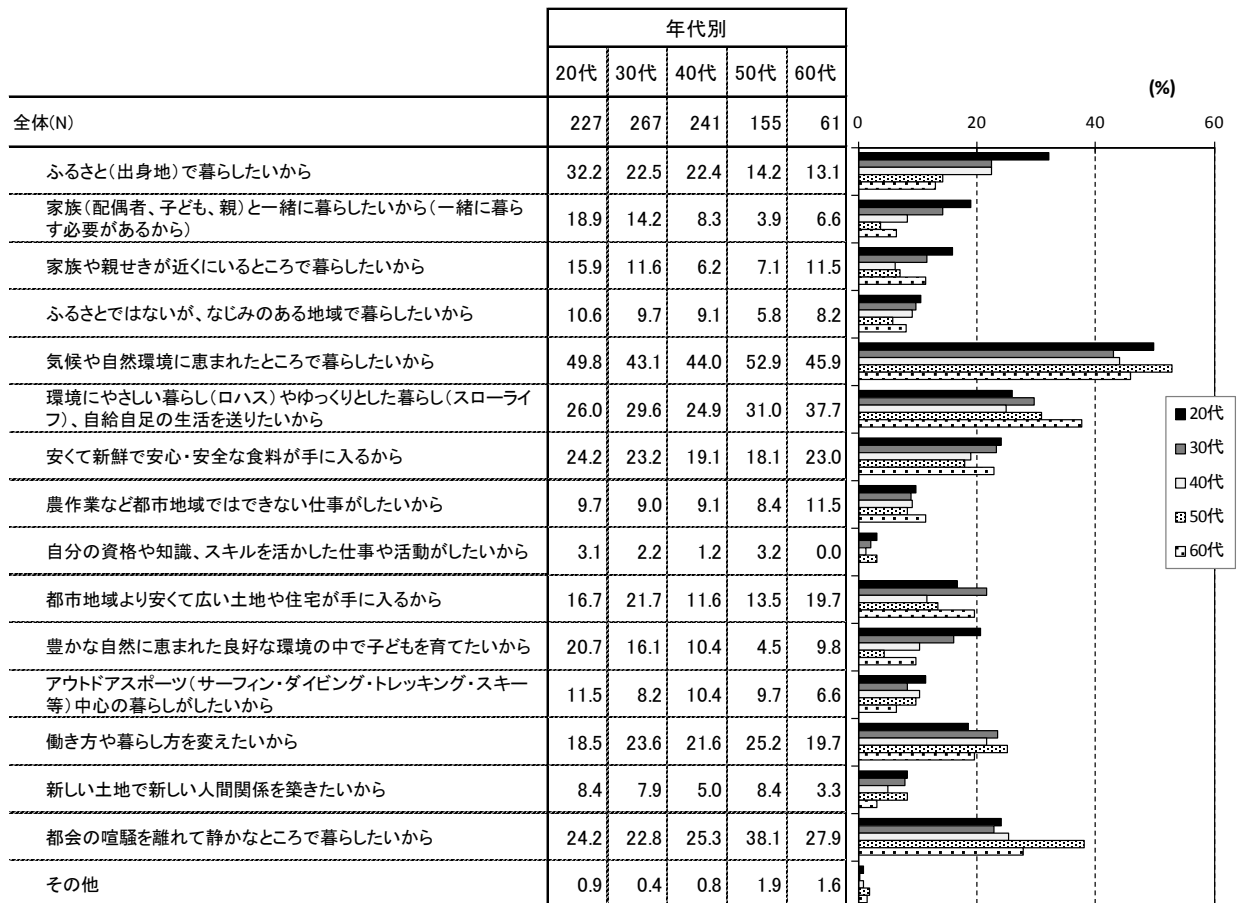
- ▶ 全体では、「ライフステージの各段階で、その時々条件に合う地域を選んで移り住みたい」が29.4%で最も割合が高い。次いで、「まだわからない」が27.4%、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい(定住したい)」が23.2%と続いている。
- ▶ 男女別で見ると、男性の方が、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい(定住したい)」と回答する割合が高い。
- ▶ 地域ブロック別で見ると、北海道では「ライフステージの各段階で、その時々条件に合う地域を選んで移り住みたい」が40.7%であり他のブロックと比べて割合が高い。また、北海道と東北では、「ずっと農山漁村地域で暮らしたい(定住したい)」と回答する割合が低い。



問13. あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ▶ 全体では、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が46.7%であり最も高く、次いで、「環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから」(28.3%)や「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」(26.6%)と続いている。
- ▶ 男女別でみると、「ふるさと(出身地)で暮らしたいから」は男性の方が、「安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから」は女性の方が高い割合となっている。
- ▶ 年代別でみると、50代では「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が5割以上、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」は4割近くあり、他の年代と比べると割合が高い。
- ▶ また、若い世代ほど「ふるさと(出身地)で暮らしたいから」の割合が高い。

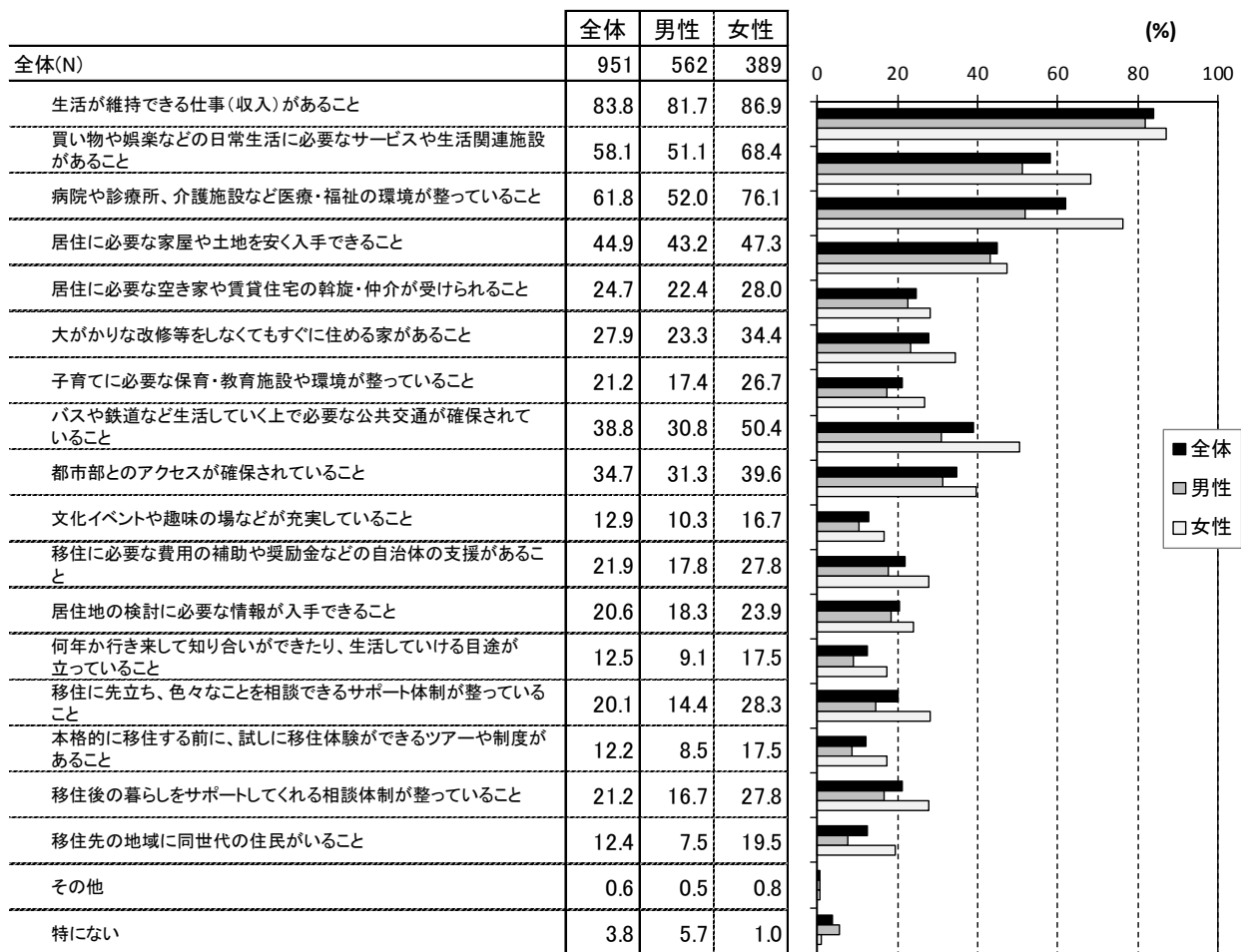


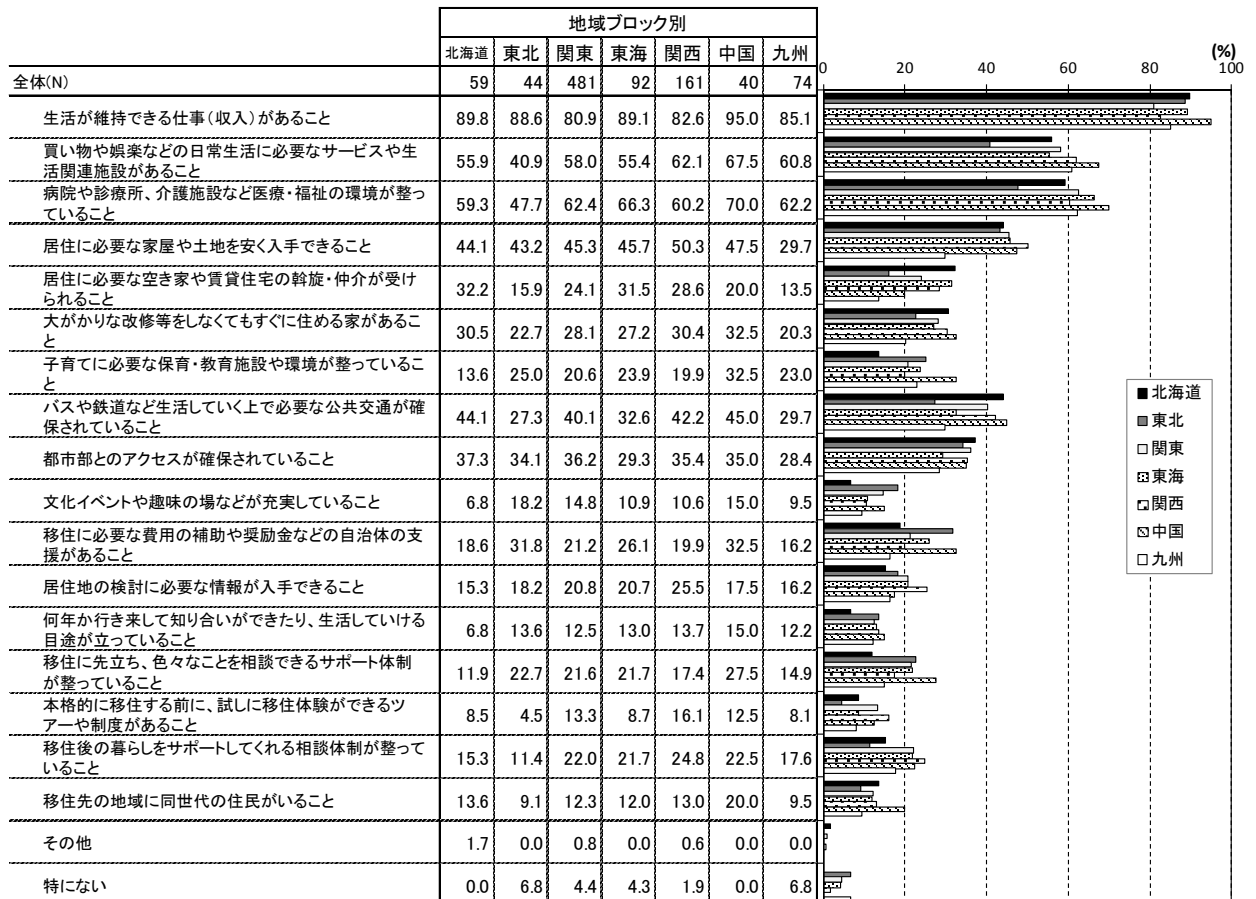
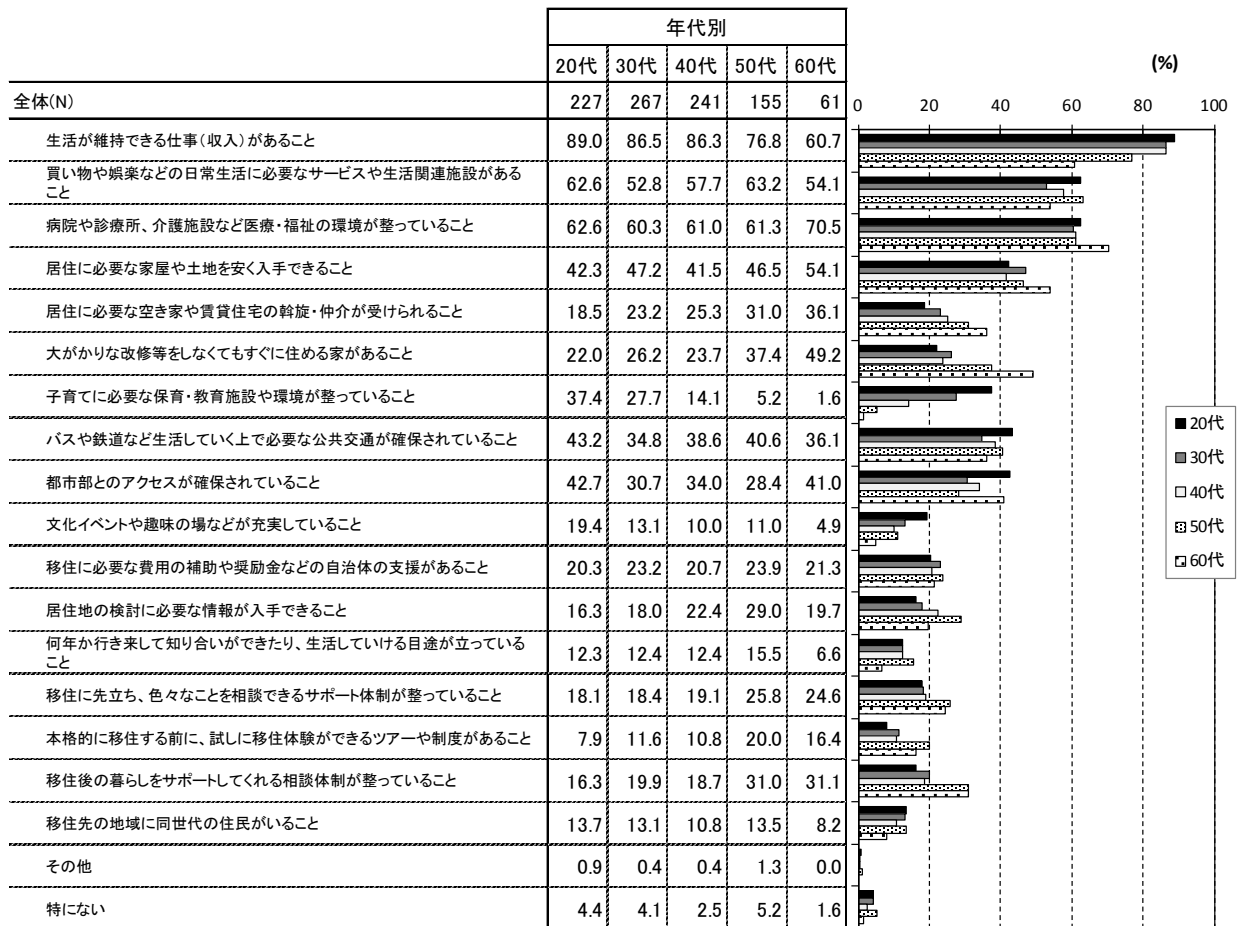


問14. あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。

1. 農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。(○はいくつでも)
2. その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。(○はひとつ)

- ▶ 全体では、「生活が維持できる仕事(収入)があること」が83.8%と最も割合が高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」(61.8%)、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」(58.1%)が続いている。
- ▶ 男女別でみると、女性では「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」及び「バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること」の割合が男性より高い。

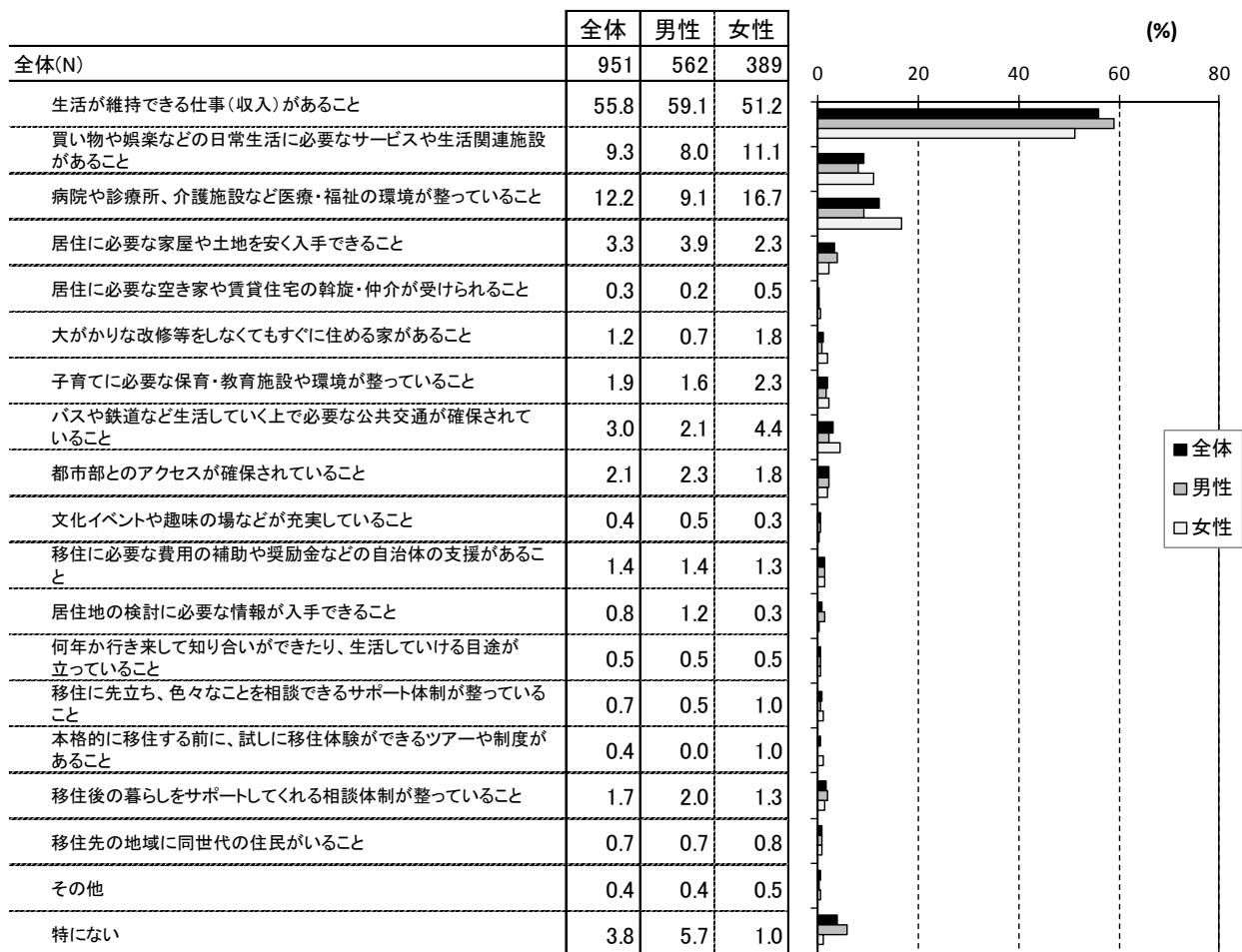


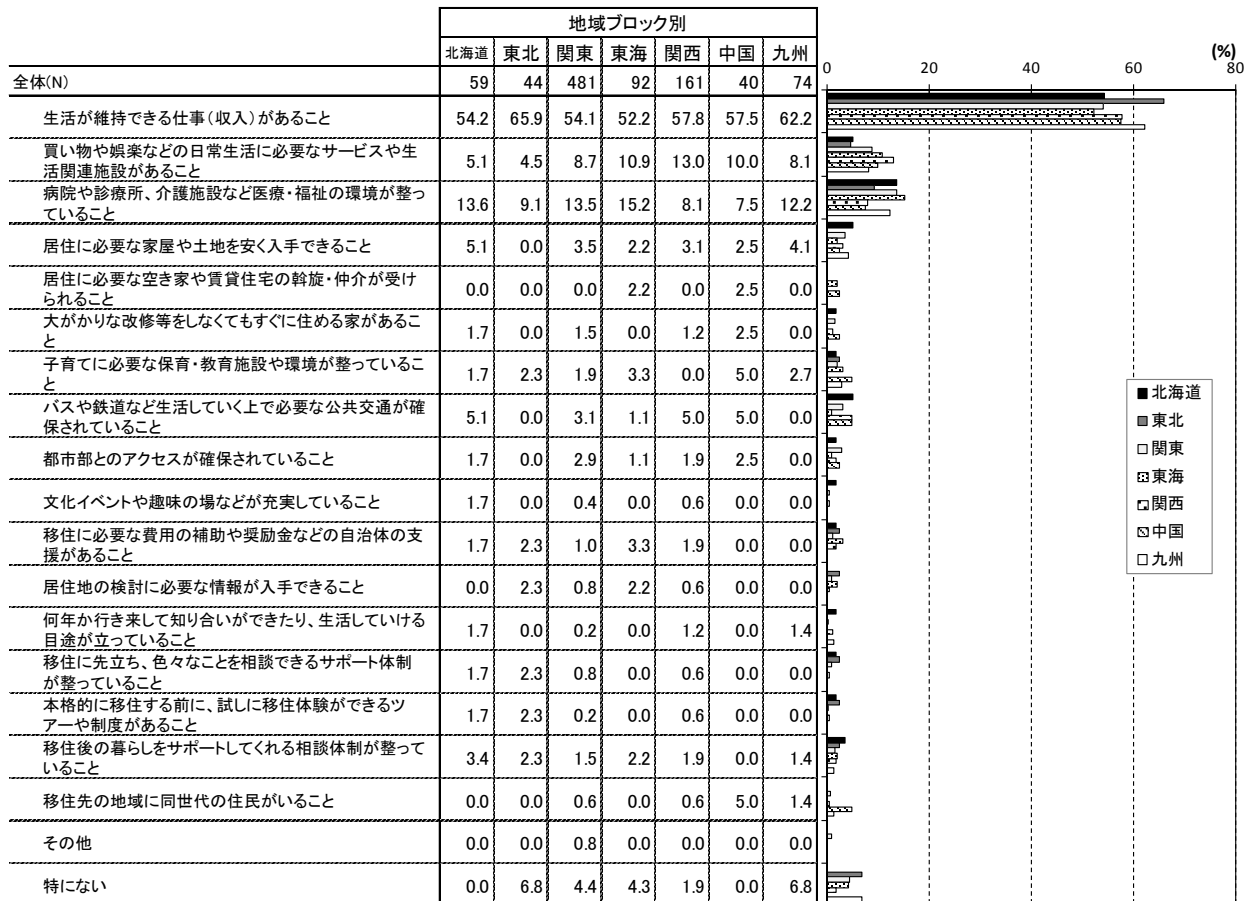
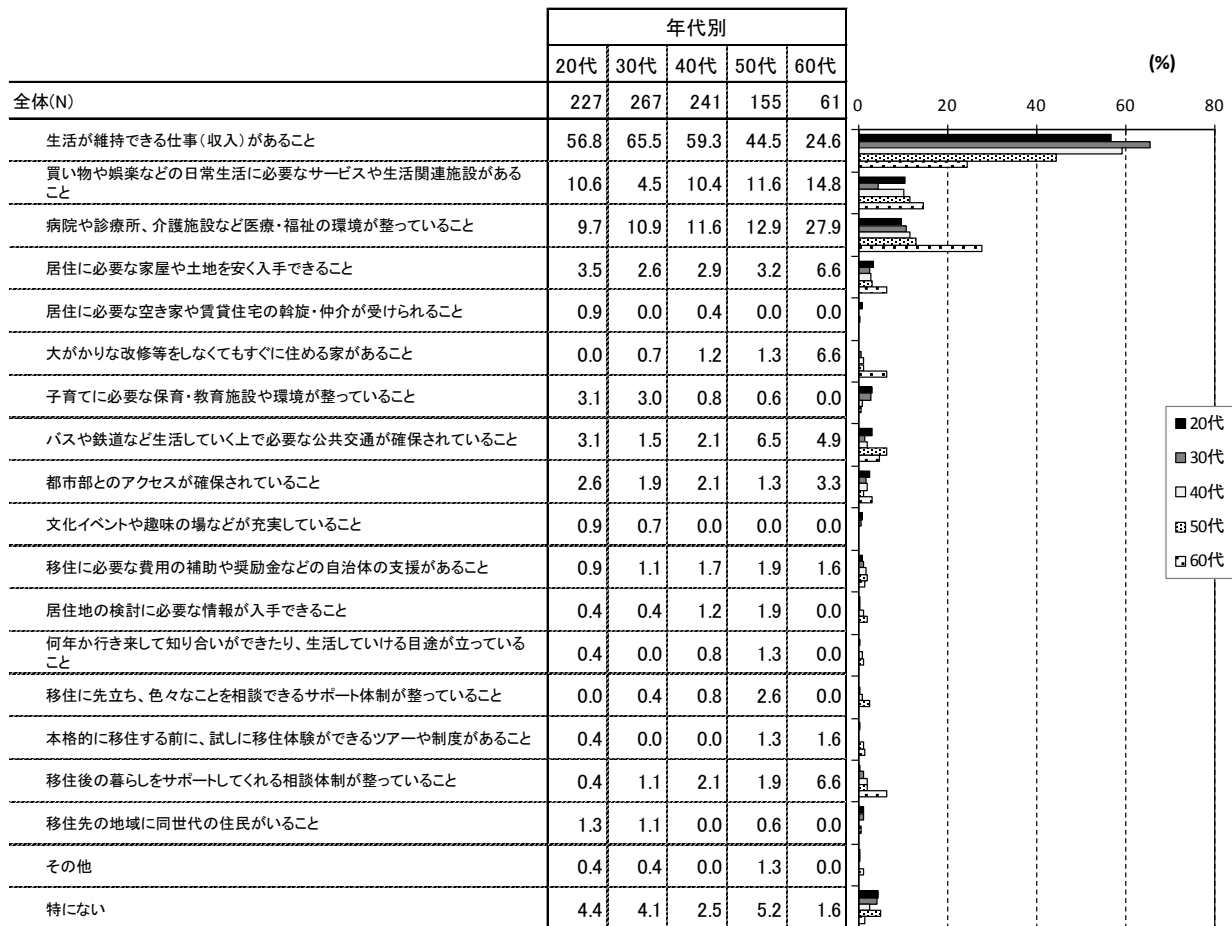




2. その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。(○はひとつ)

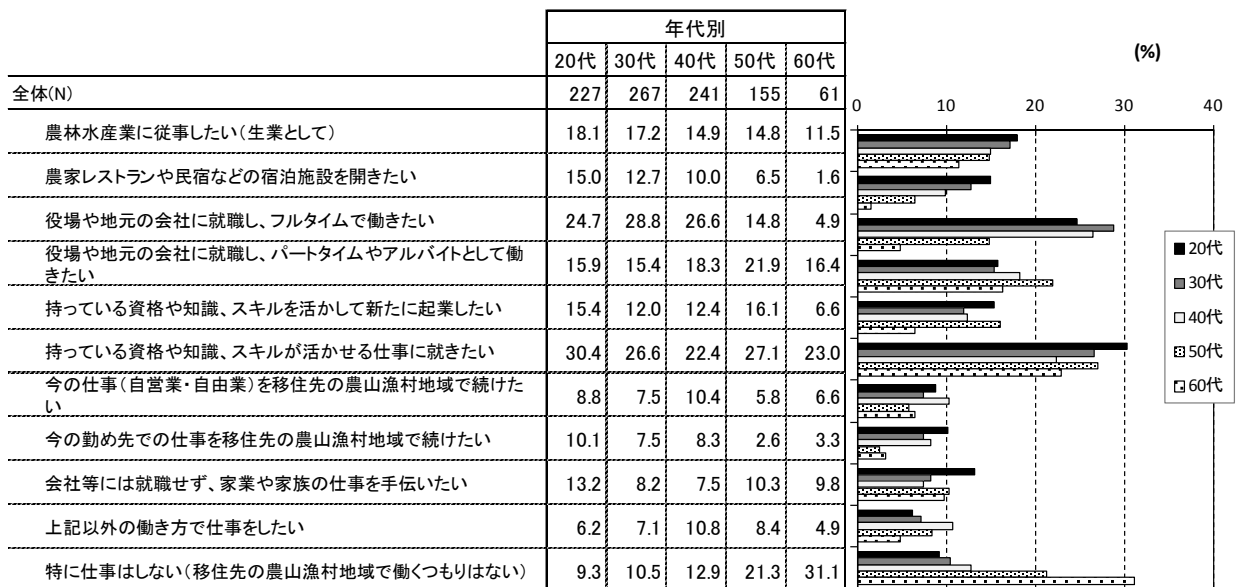
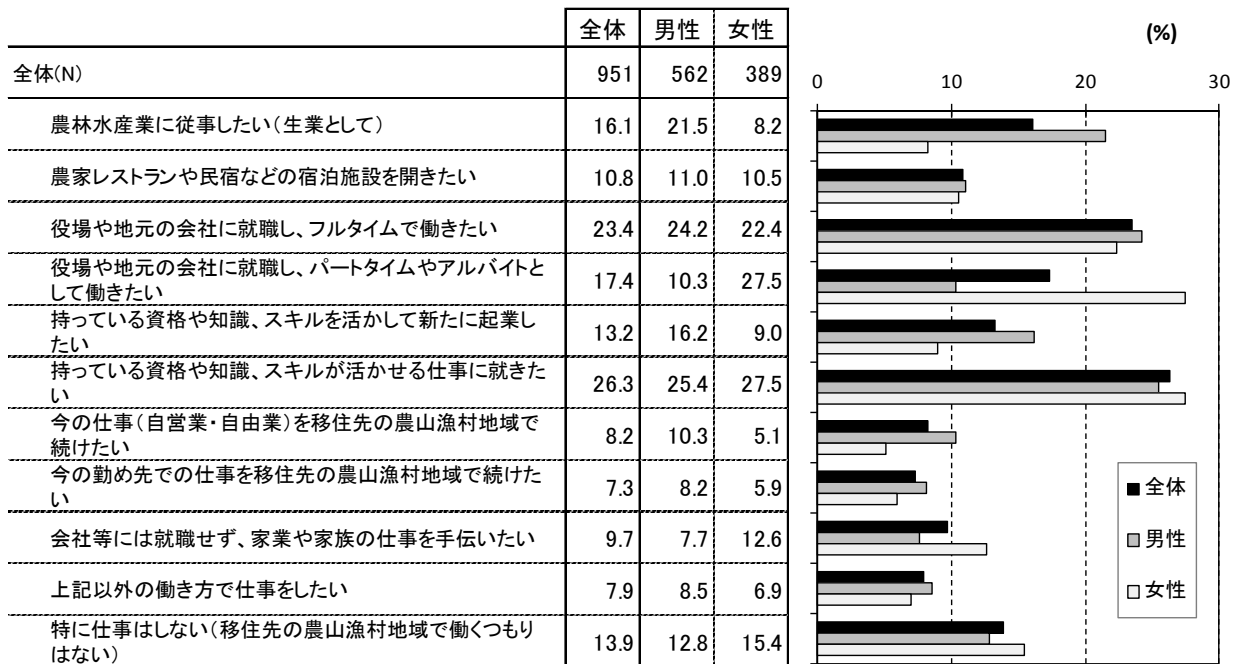
- ▶ 全体では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」が5割超であり、他の項目と比べて突出して割合が高い。
- ▶ 年代別でみると、「生活が維持できる仕事（収入）があること」は若い世代ほど高く、30代が最も高い。
- ▶ 地方ブロック別でみると、東北及び九州では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が6割以上を占めている。

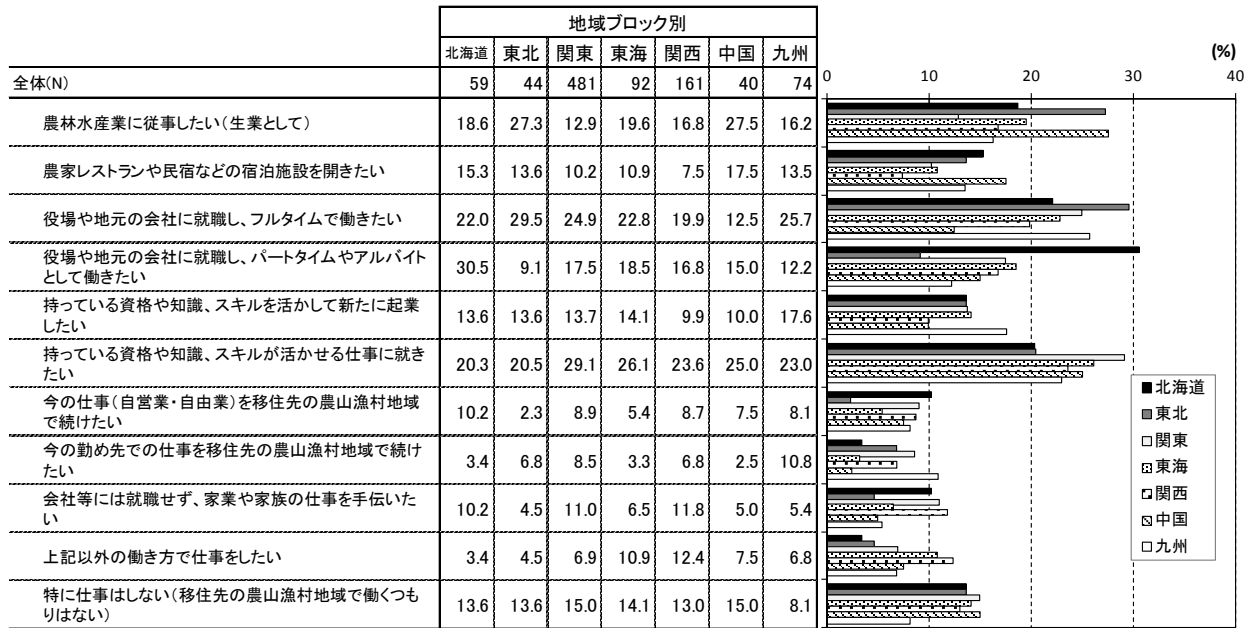




問15. あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような仕事に就きたいですか。(〇はいくつでも)

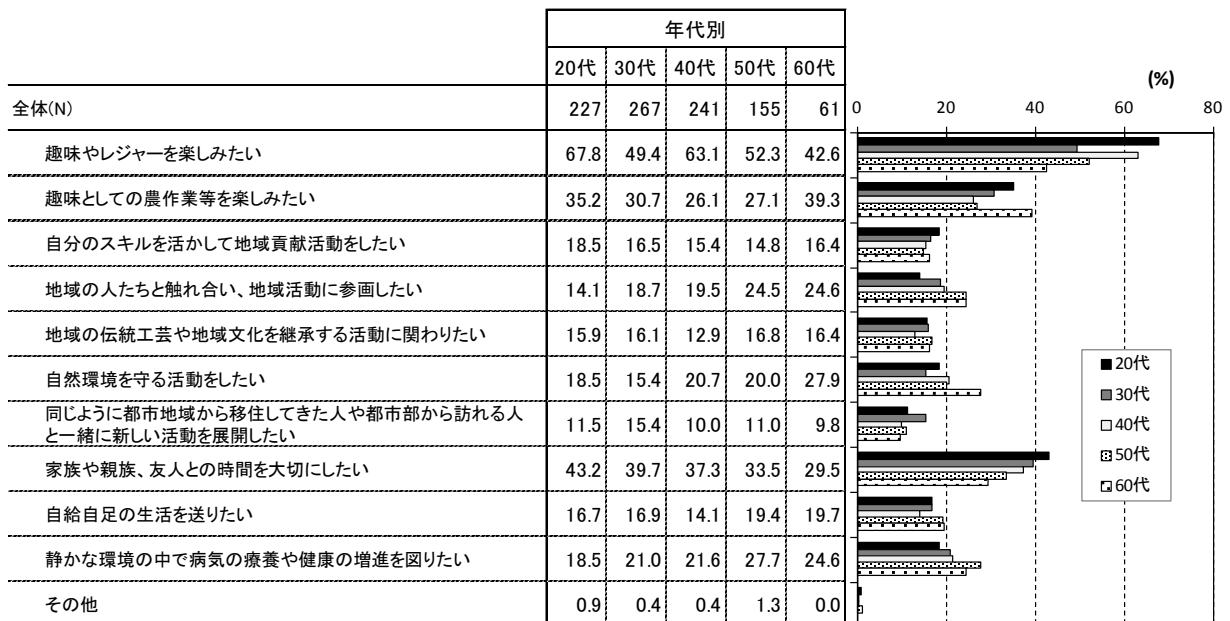
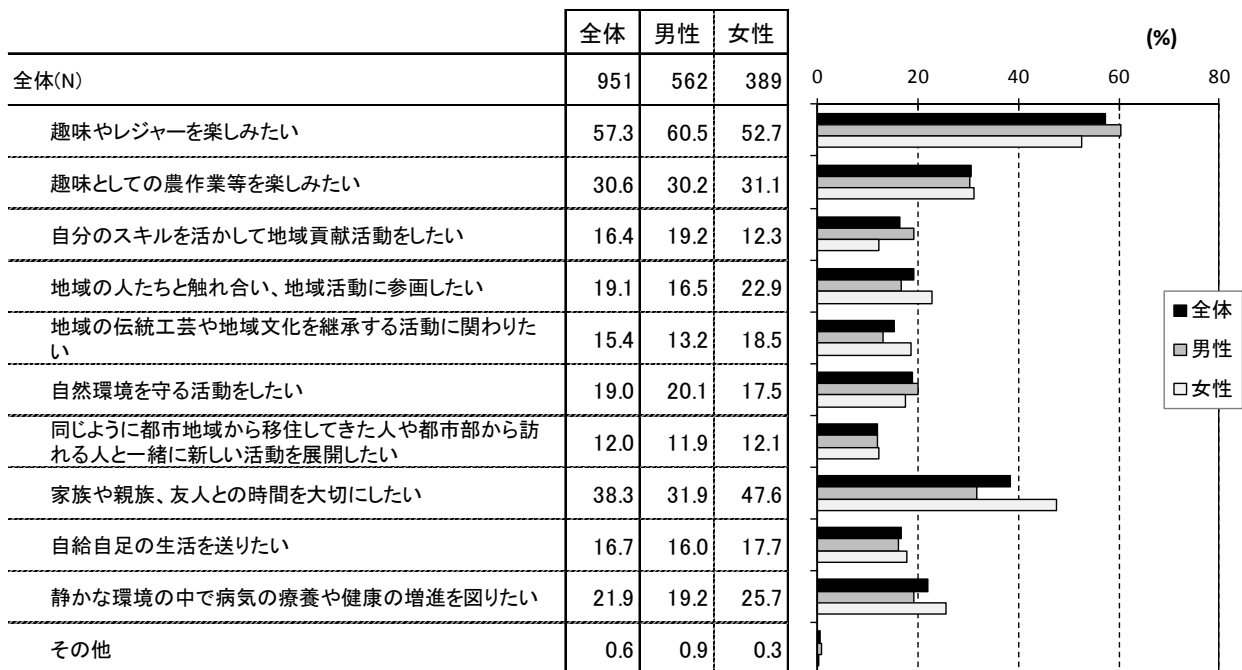
- ▶ 全体では、「持っている資格や知識、スキルを活かせる仕事に就きたい」が 26.3%で最も高く、次いで、「役場や地元の会社に就職し、フルタイムで働きたい」が 23.4%と続いている。
- ▶ 男女別にみると、男性では「農林水産業に従事したい(生業として)」の割合が高く、女性では「役場や地元の会社に就職し、パートタイムやアルバイトとして働きたい」の割合が高い。

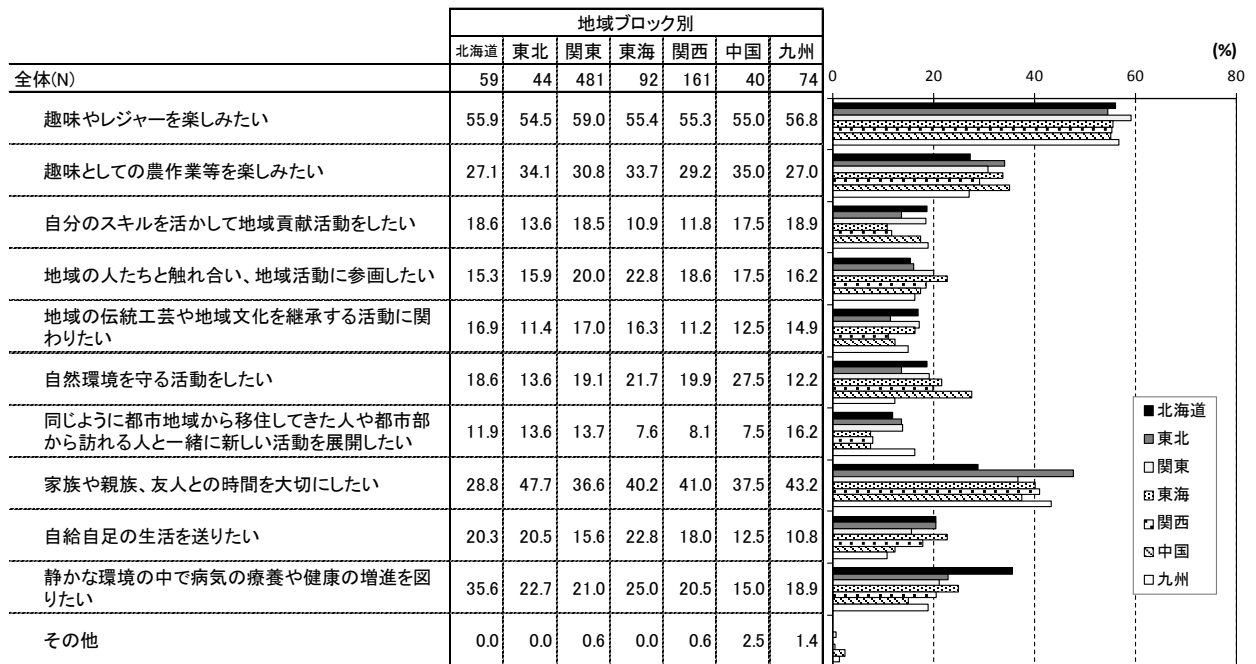




問16. あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような暮らしをしたいですか。(〇はいくつでも)

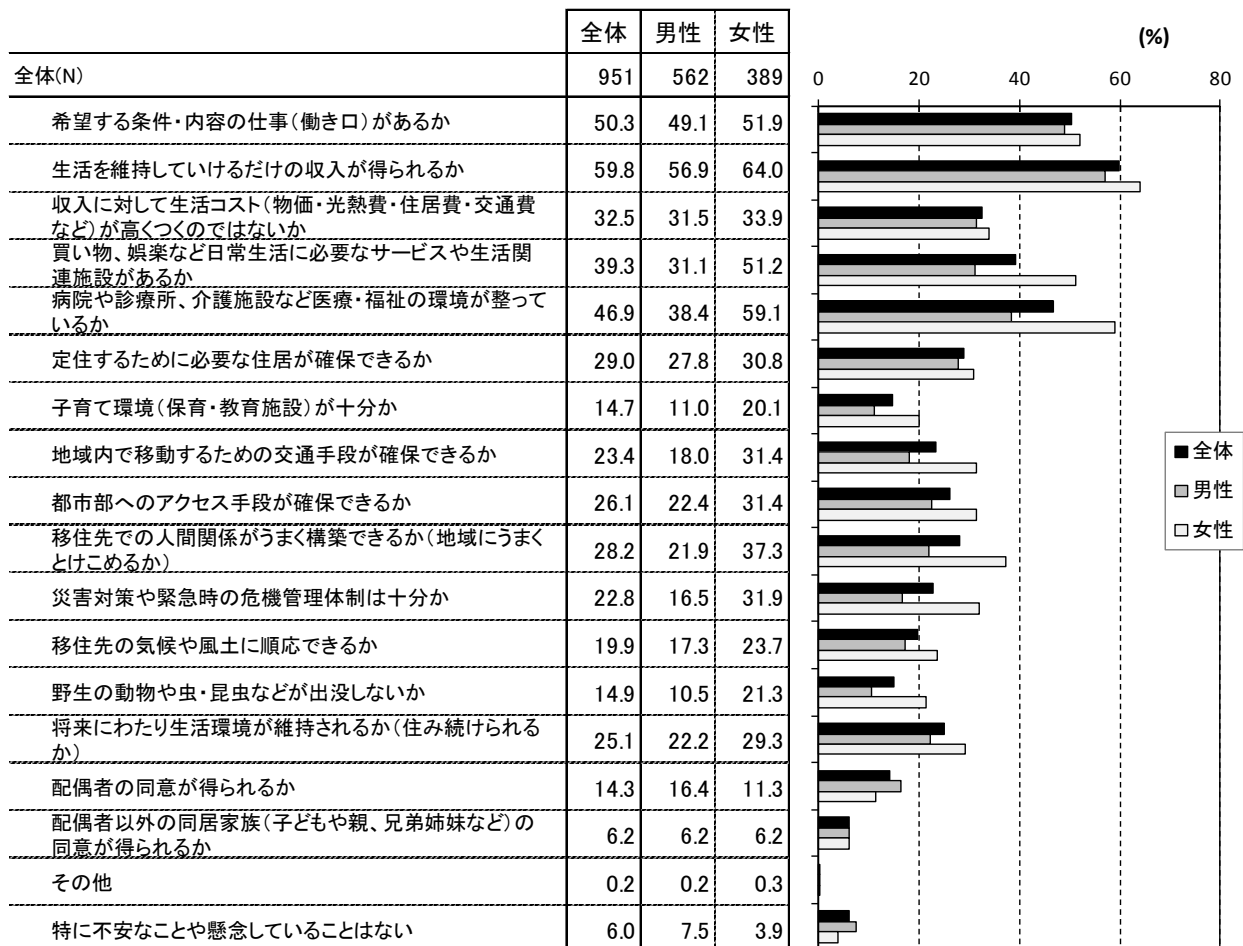
- ▶ 全体では、「趣味やレジャーを楽しみたい」が 57.3%と最も高く、次いで、「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」が 38.3%、「趣味としての農作業等を楽しみたい」が 30.6%続いている。
- ▶ 年代別でみると、若い世代ほど「家族や親族、友人との時間を大切にしたい」の割合が高い。その一方で、年代が高くなるほど「地域の人と触れ合い、地域活動に参画したい」の割合が高い。

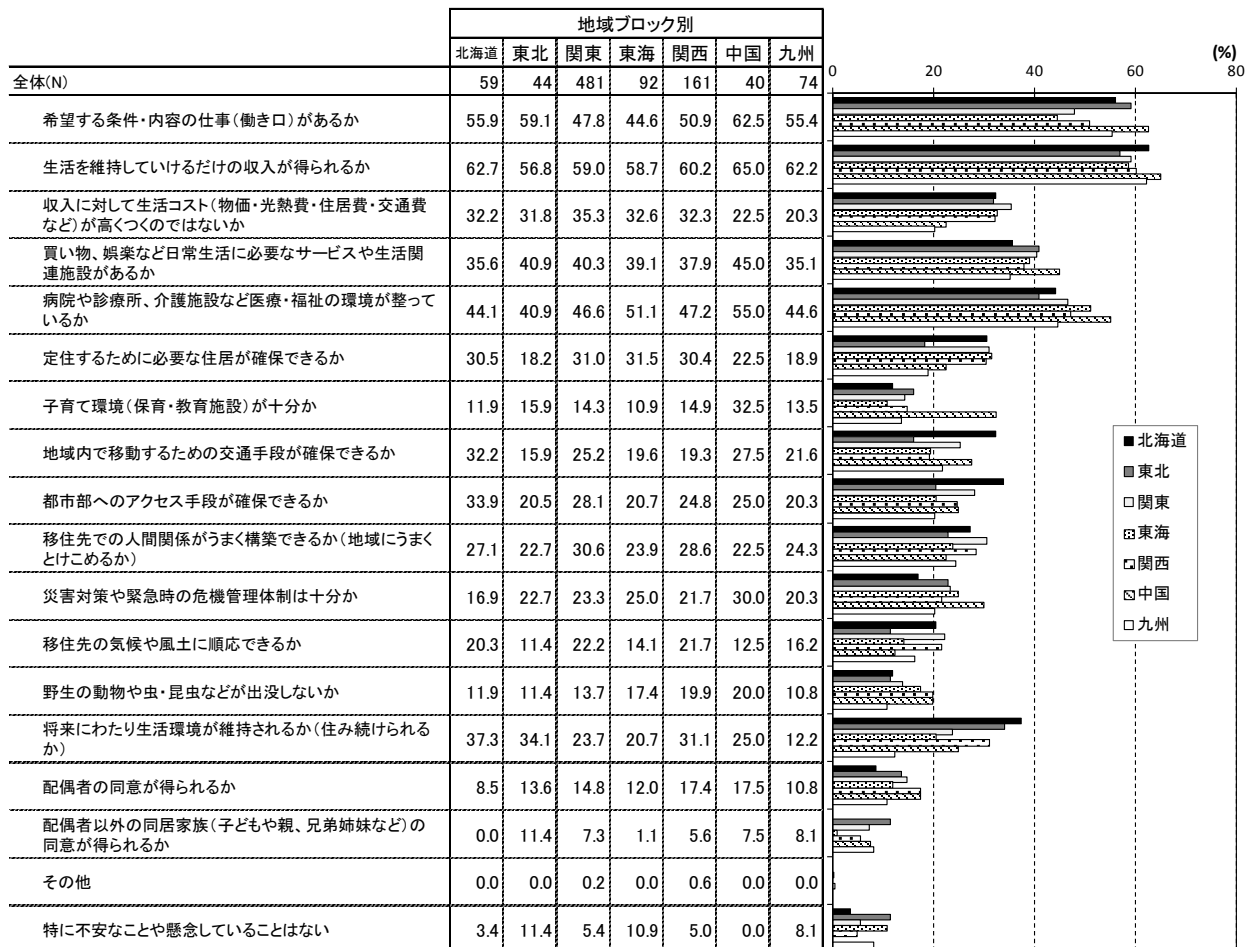
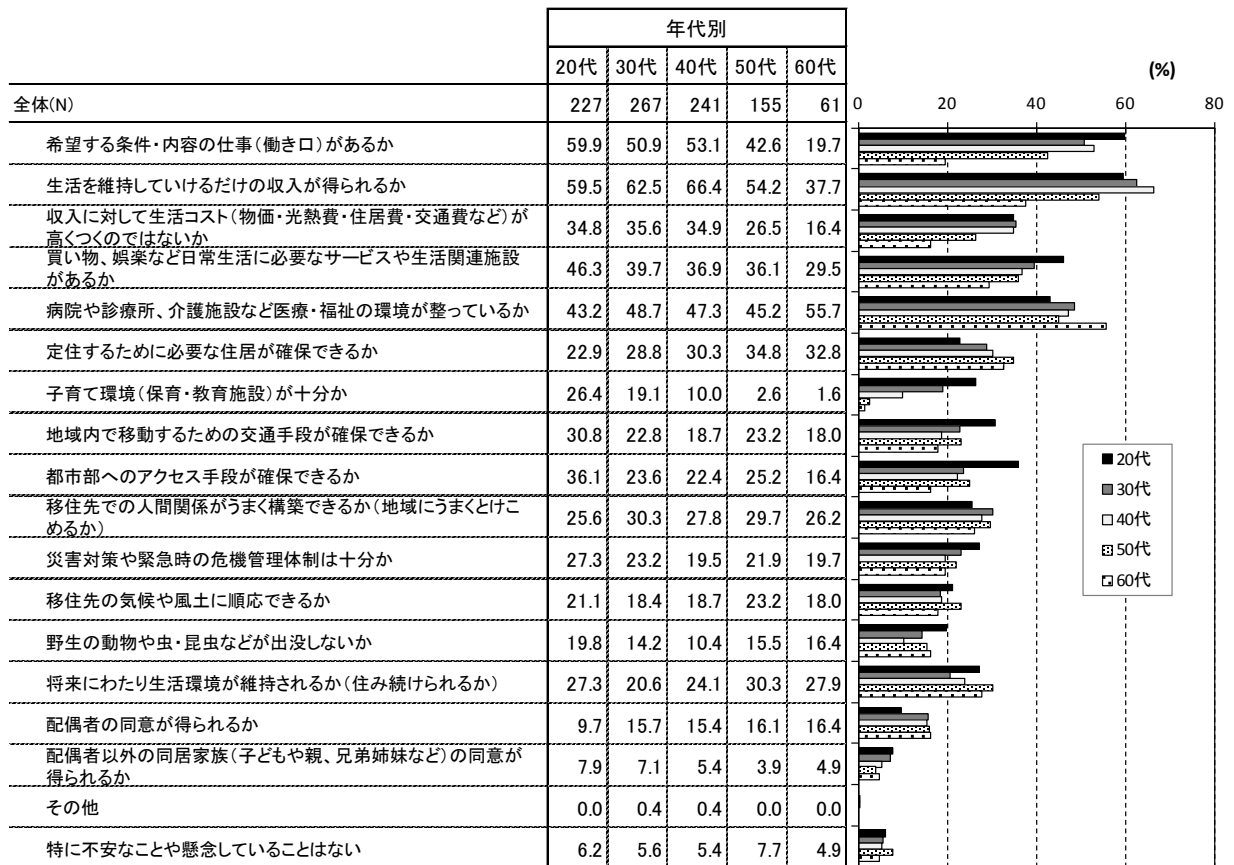




問17. あなたは、農山漁村地域への移住に対し、何か不安や懸念をお持ちですか。(〇はいくつでも)

- ▶ 全体では、「生活を維持していけるだけの収入が得られるか」が59.8%で最も高く、次いで、「希望する条件・内容の仕事(働き口)があるか」(50.3%)、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか」(46.9%)が続いている。
- ▶ 男女別で見ると、女性は、ほとんどの項目で男性よりも不安や懸念を持つ回答の割合が高い。
- ▶ 年代別で見ると、若い世代ほど、仕事や収入への不安があると回答する割合が高い。



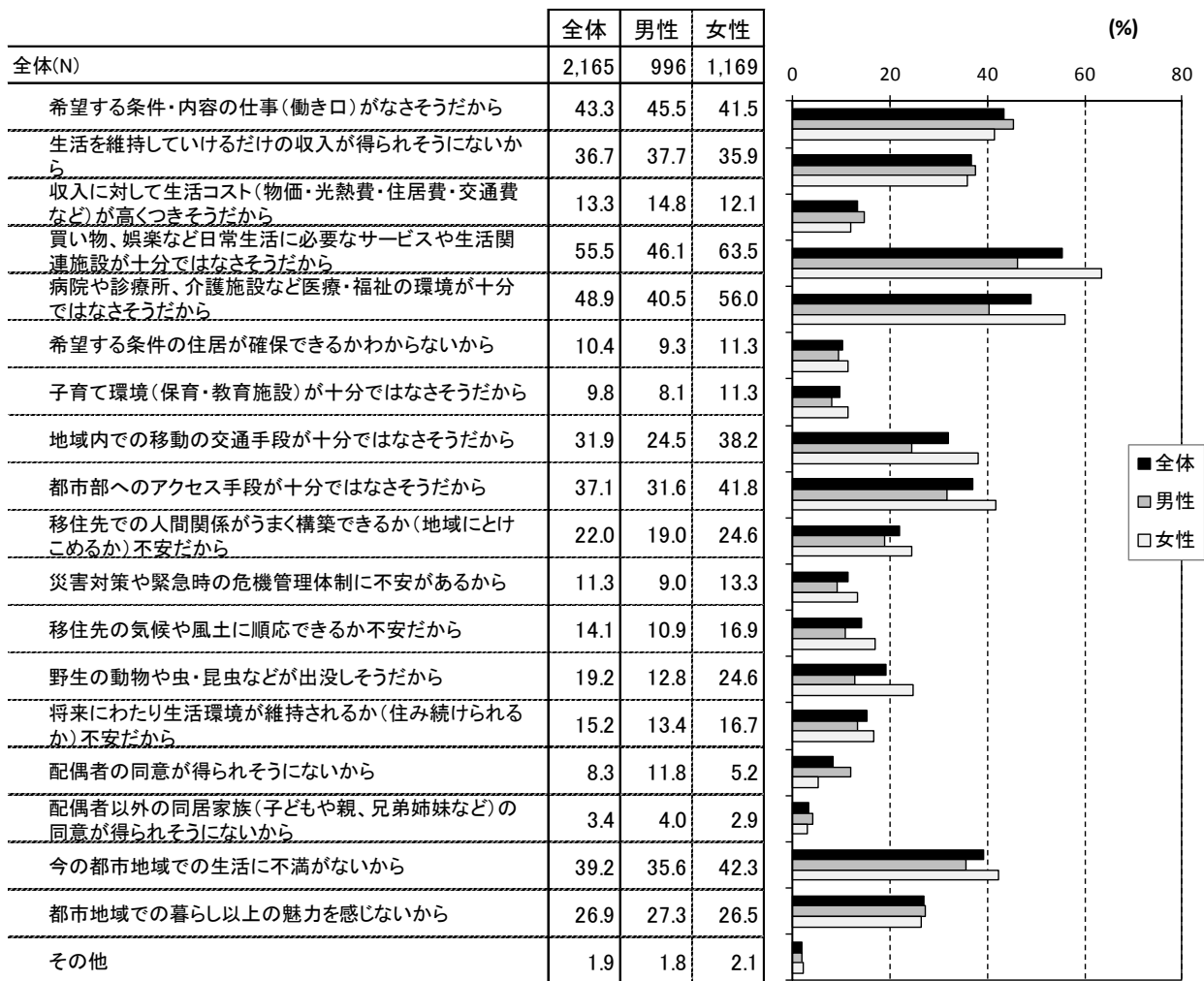


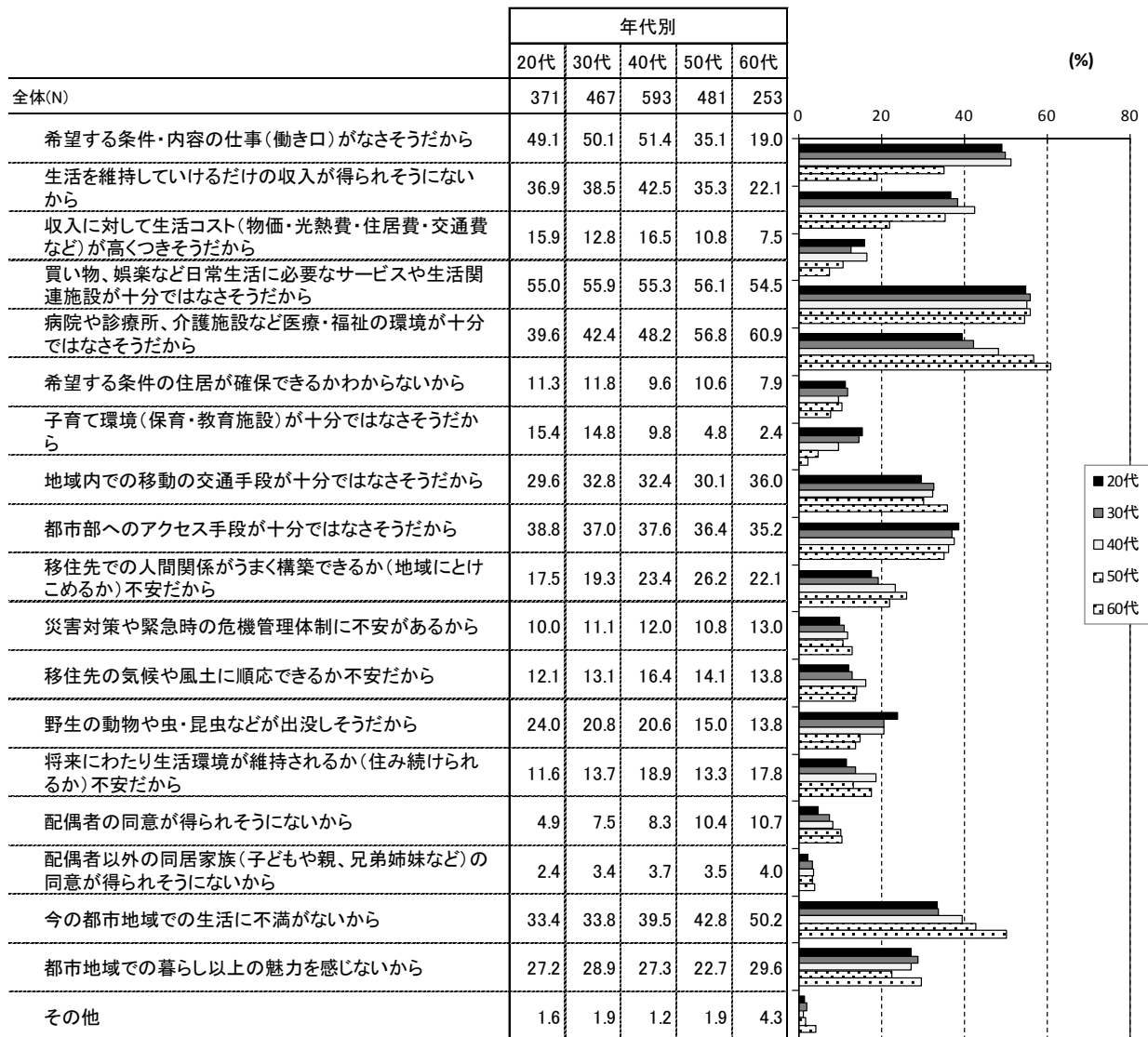


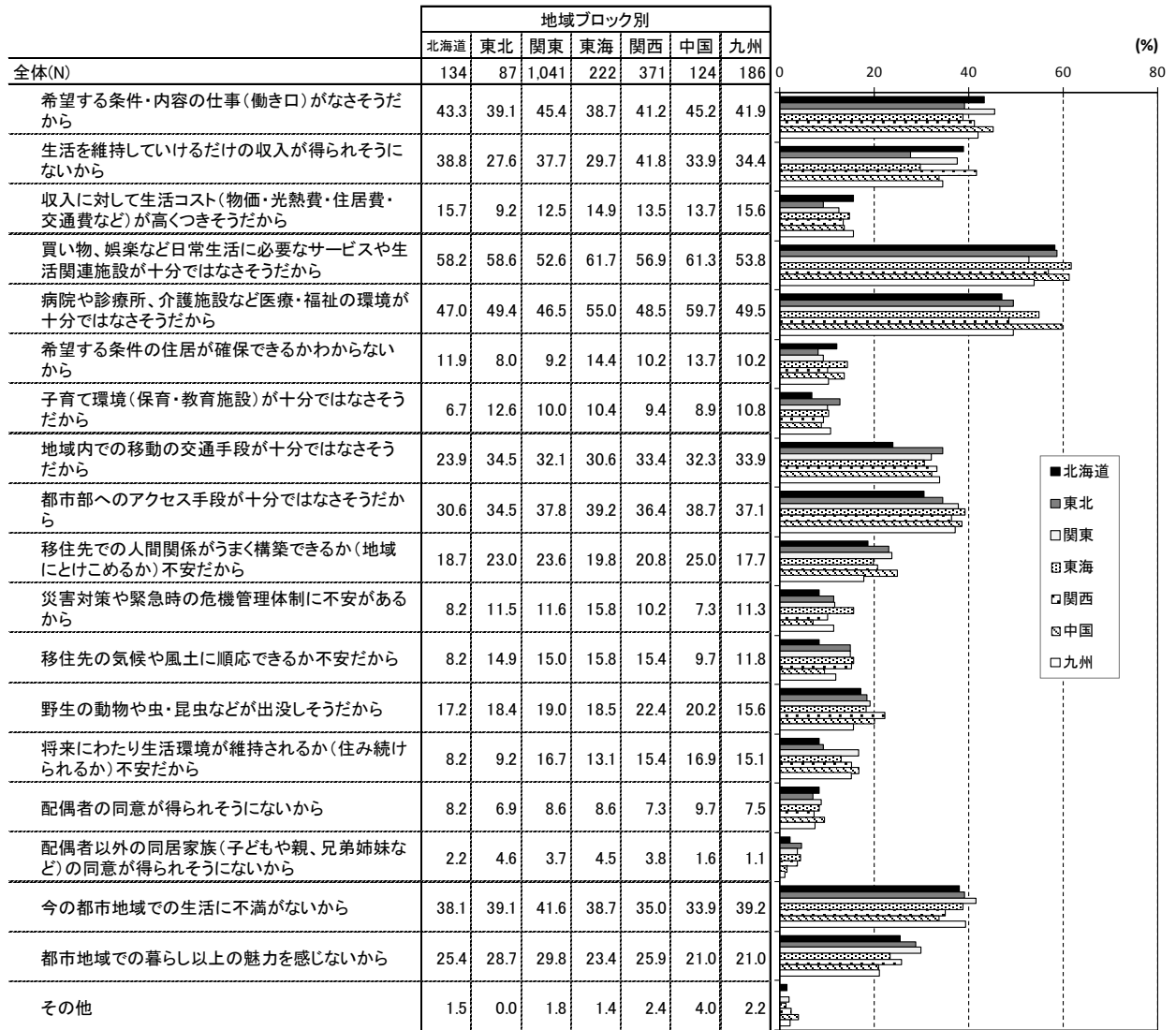
【問 18 は、問 9 で農山漁村への移住意向を示さなかった人のみ】

問18. あなたが農山漁村地域に移住してみたいと思わないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- ▶ 全体では、「買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから」が 55.5%で最も割合が高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから」が 48.9%、「希望する条件・内容の仕事(働き口)がなさそうだから」が 43.3%と続いている。
- ▶ 年代別でみると、若い世代ほど、仕事や収入への不安があると回答する割合が高い。その一方で年代が高くなるほど、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから」及び「⑰今の都市地域での生活に不満がないから」の割合が高い。



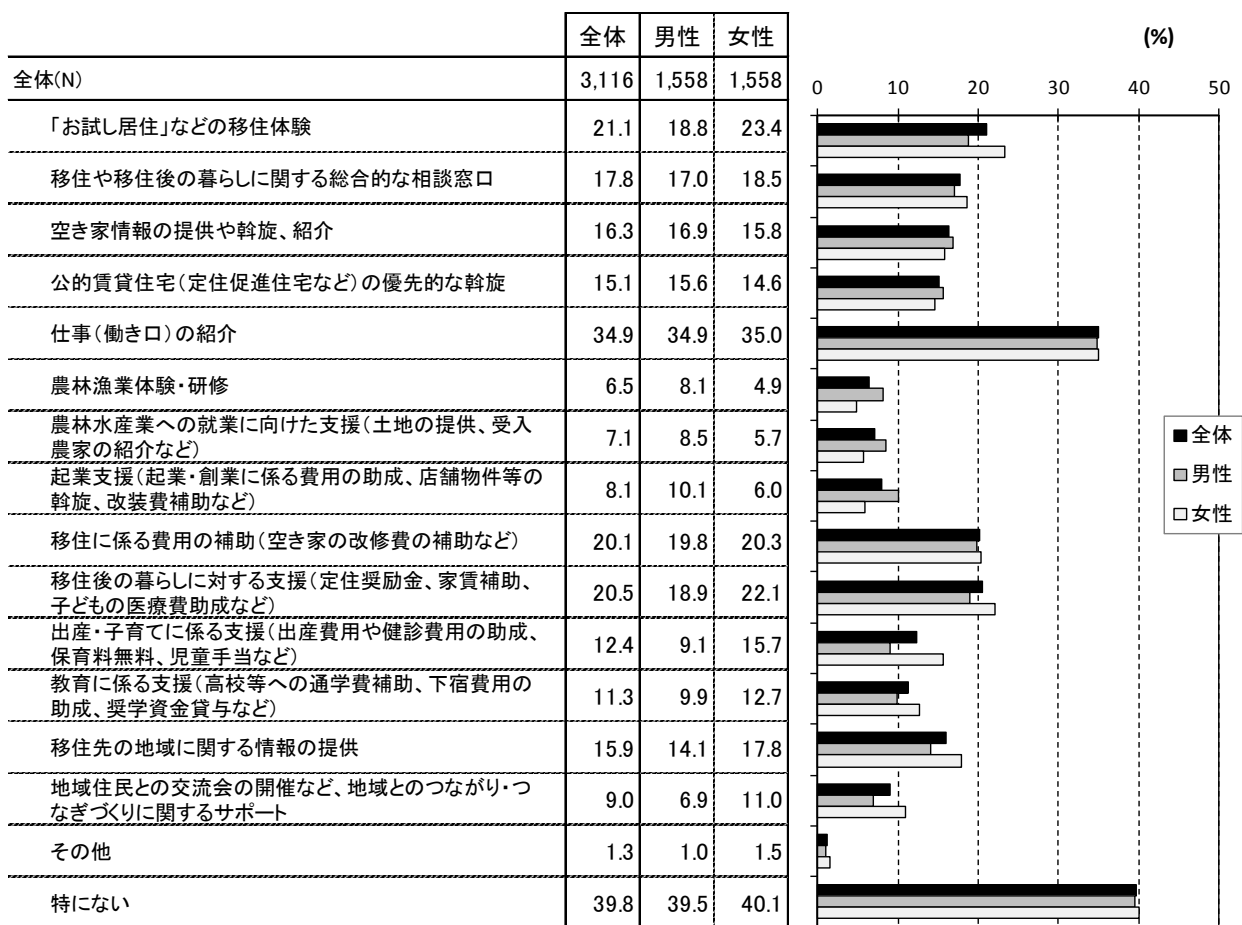


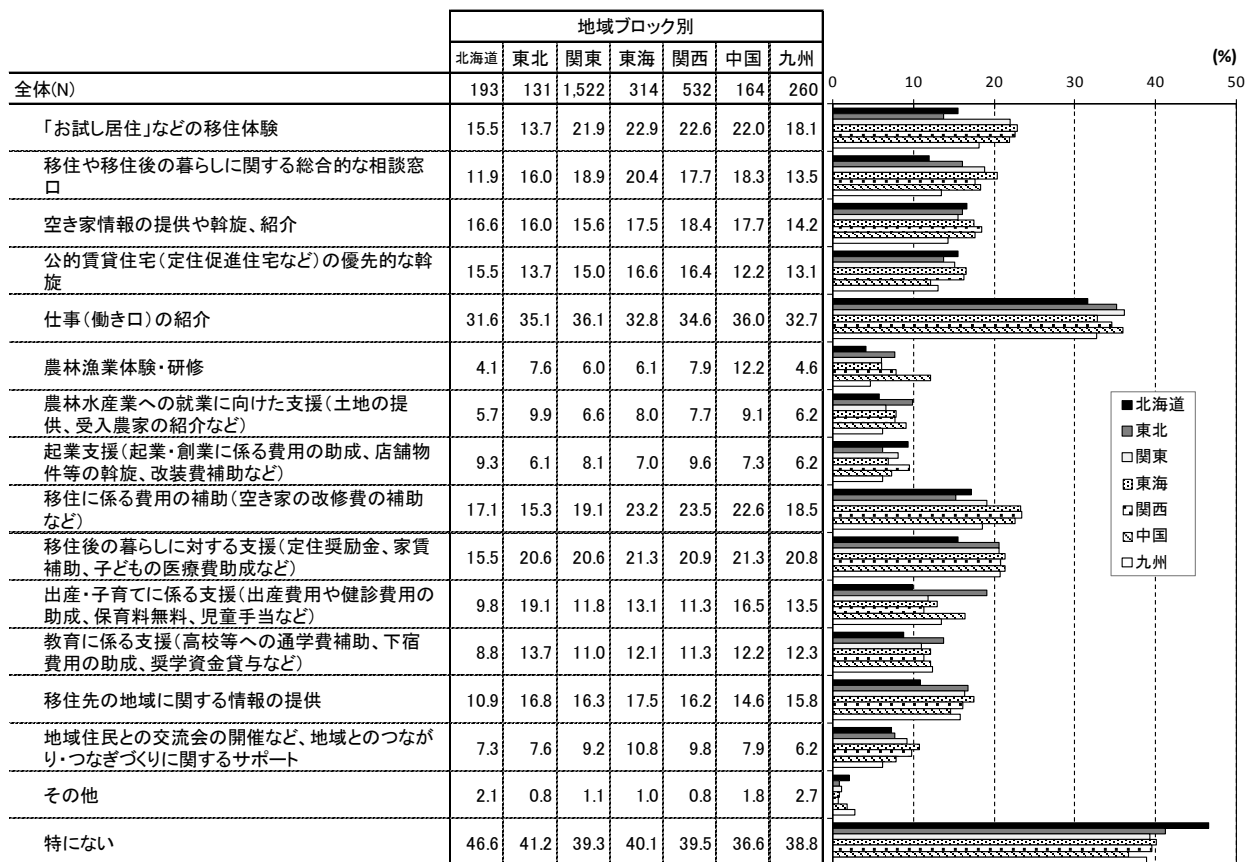
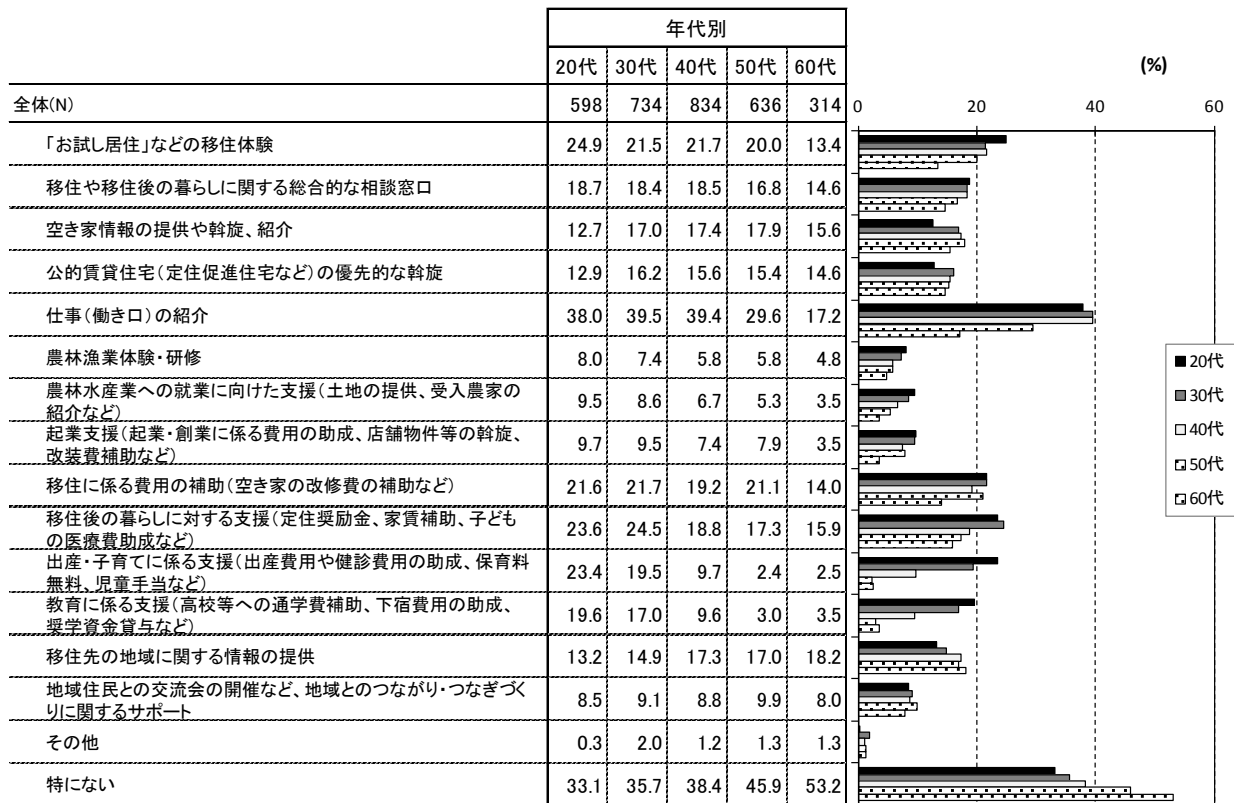


【以降、すべての人が回答】

問19. あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行ってれば、先ほどご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。(〇はいくつでも)

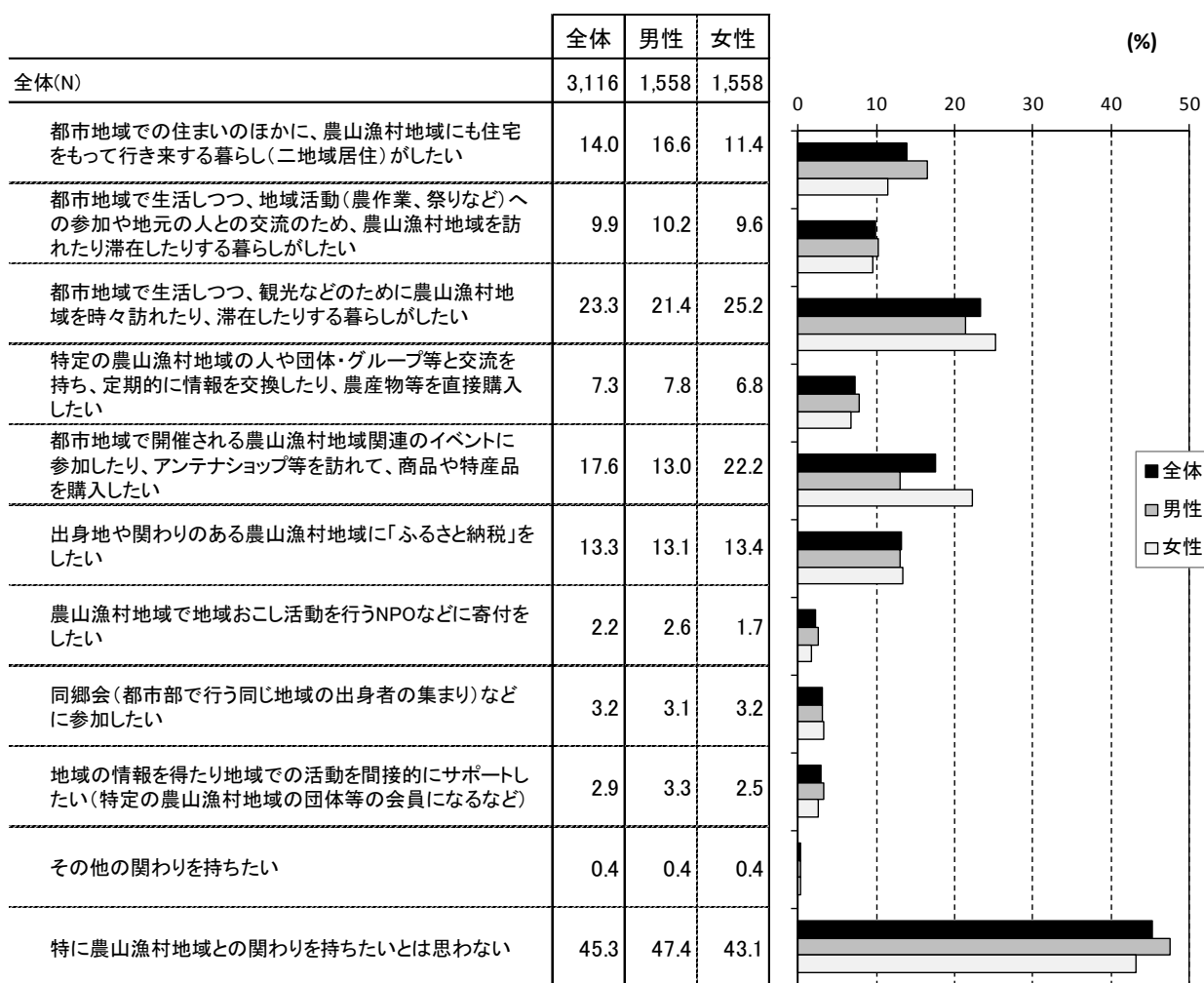
- ▶ 全体の中から具体的な施策をみると、「仕事（働き口）の紹介」が34.9%で最も割合が高く、次いで、「お試し居住」などの移住体験が21.1%、「移住後の暮らしに対する支援（定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など）」が20.5%と続いている。
- ▶ 年代別にみると、若い世代では「仕事（働き口）の紹介」の割合が高い。その一方で、年代が高くなるにつれ、「⑩特にない」及び「⑬移住先の地域に関する情報の提供」の割合が高い。

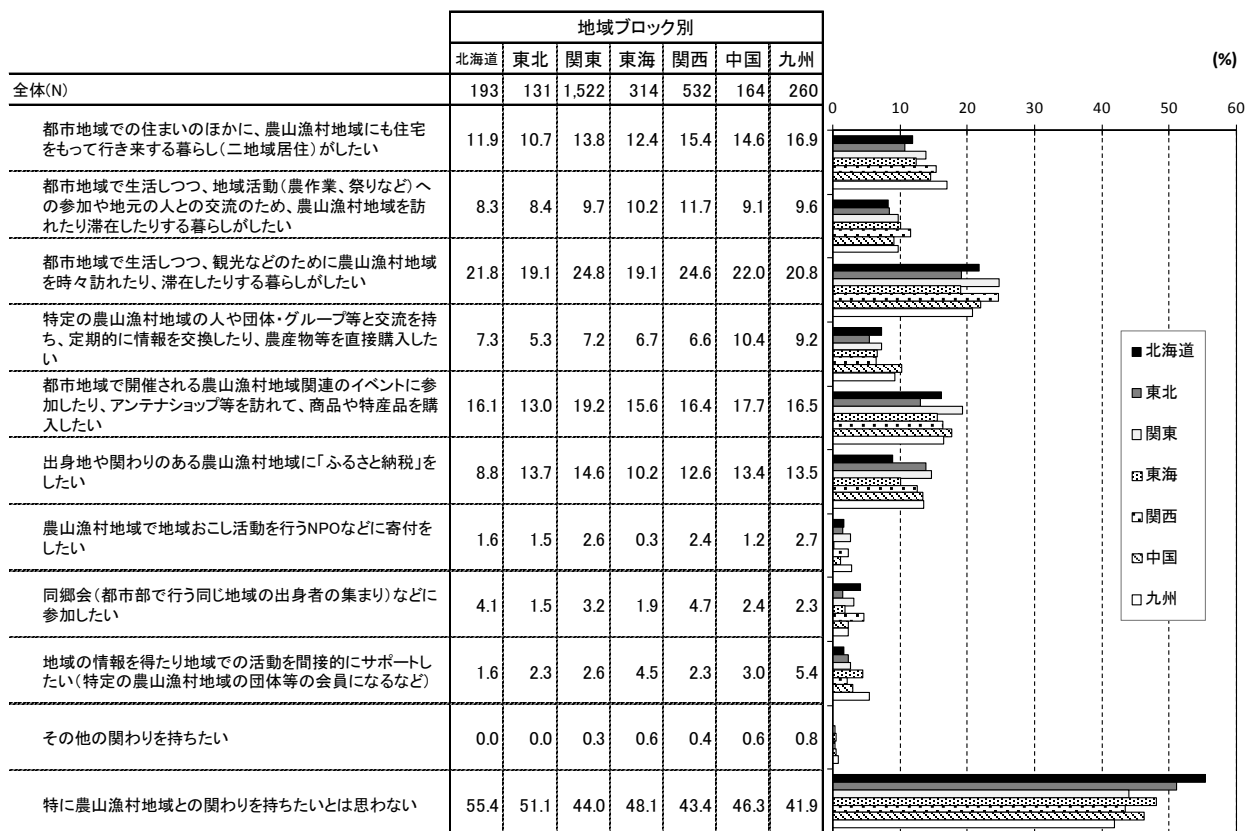
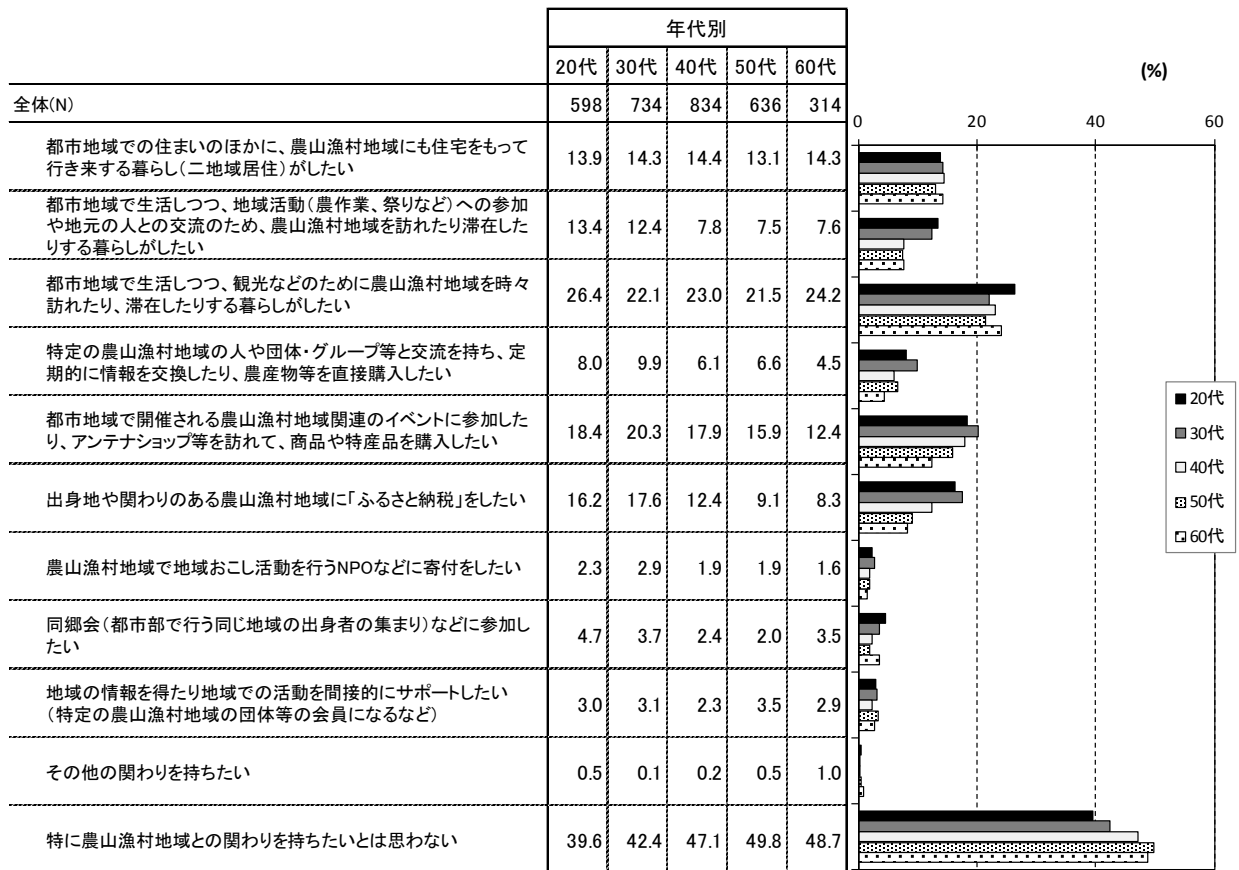




問20. あなたは、移り住む以外の方法で、今後農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。(〇はいくつでも)

- ▶ 全体で、関わりを持ちたいと回答した中では、「都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい」が 23.3%で最も割合が高く、次いで、「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい」が 17.6%、「都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし（二地域居住）がしたい」が 14.0%と続いている。
- ▶ 年代別でみると、若い世代では「都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい」及び「出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい」の割合が高い傾向にある。

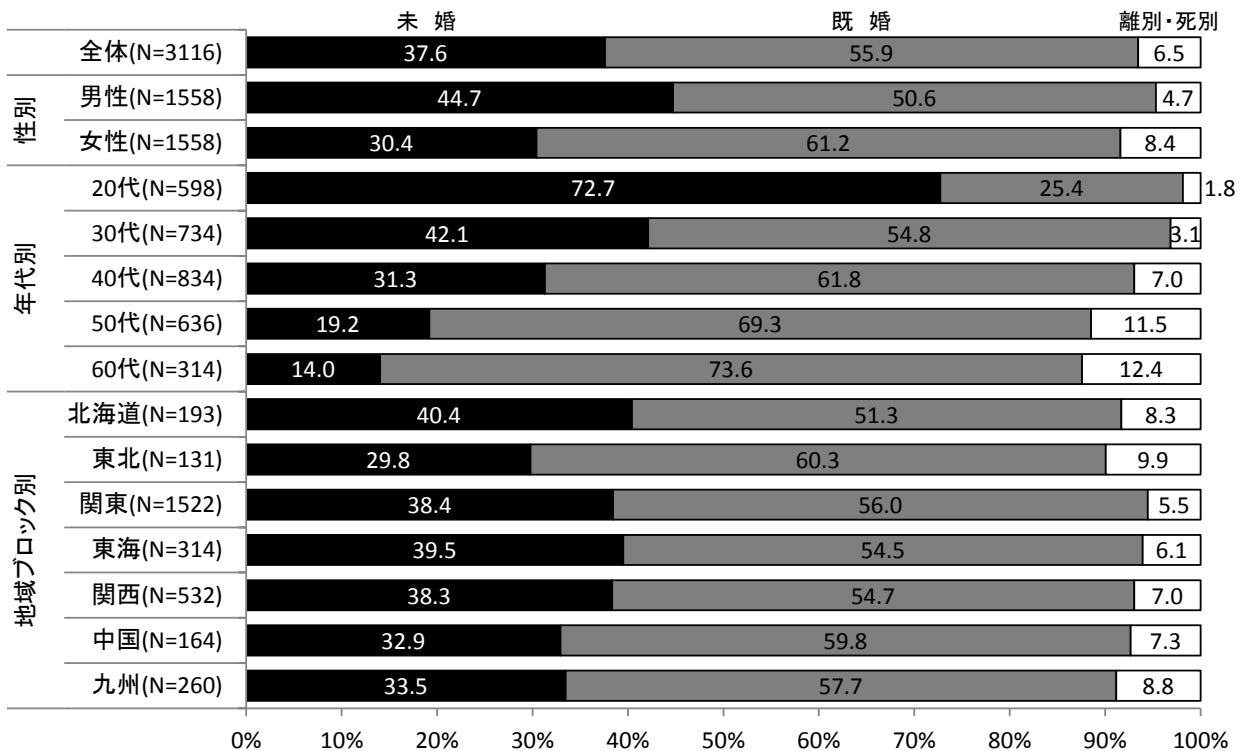




### (3) 回答者属性

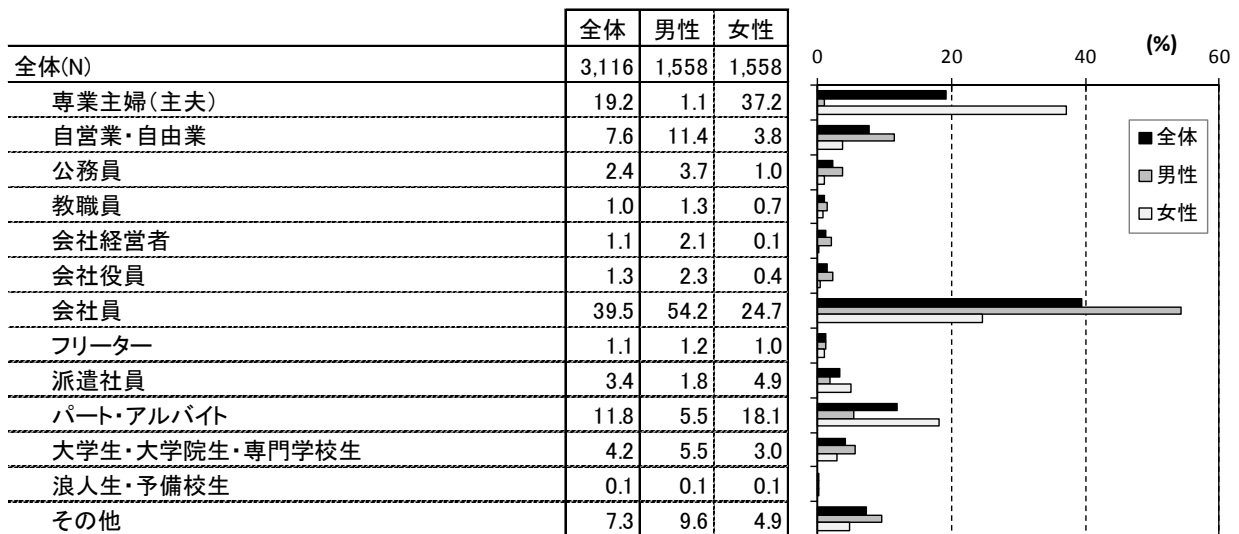
#### 【婚姻状況】

- ▶ 全体では、「既婚」が 55.9%で最も割合が高く、次いで、「未婚」が 37.6%、「離別・死別」が 6.5%である。
- ▶ 年代別でみると、20代では、7割以上が「未婚」であり、30代以上の年代では5割以上が「既婚」である。
- ▶ 地域ブロック別でみると、東北の「未婚」の割合が低い。



#### 【職業】

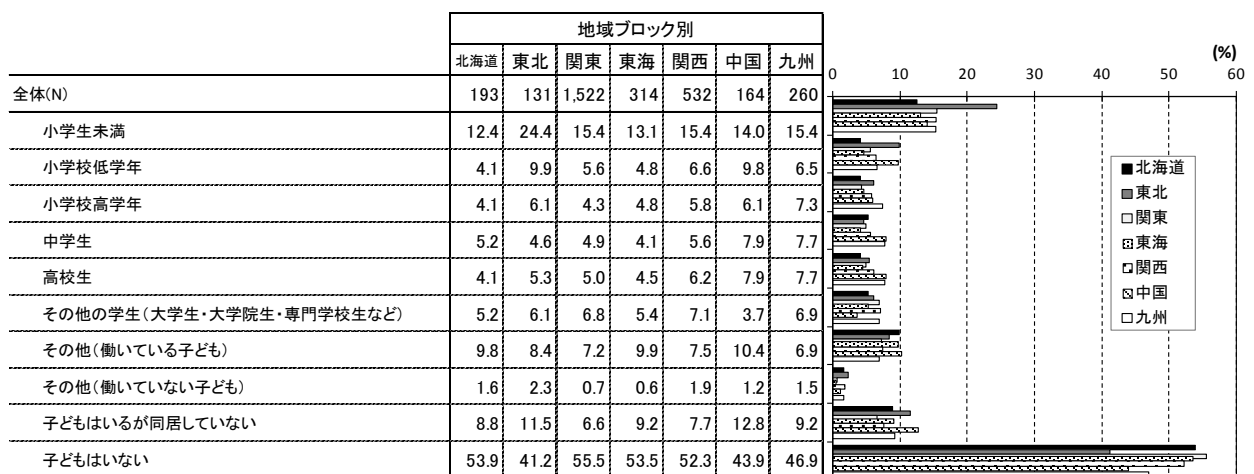
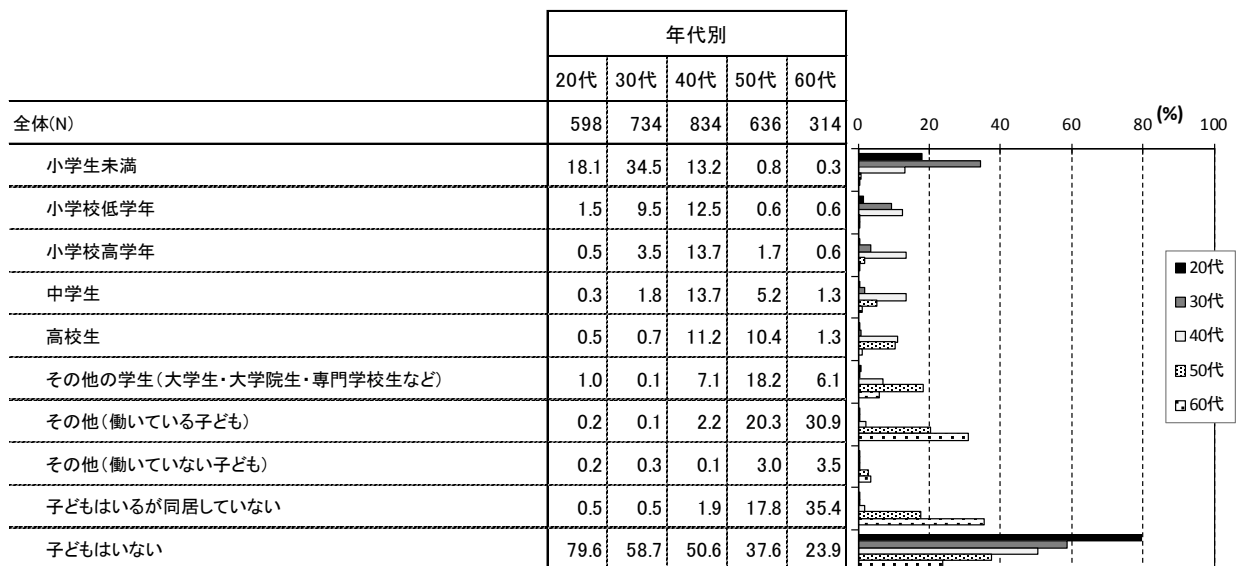
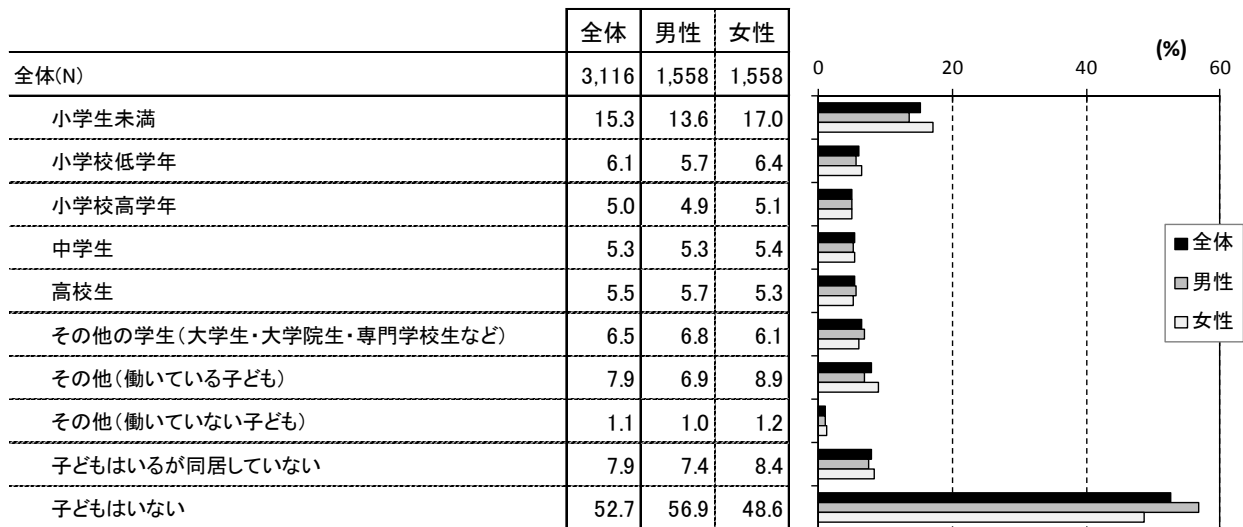
- ▶ 全体では、「会社員」が約4割を占め、次いで、「専業主婦（主夫）」が約2割である。





【同居している子どもの有無】

▶ 全体では、「子どもはいない」は52.7%で最も割合が高く、子どもがいると回答した中では、「小学生未満」が15.3%であり、最も割合が高い。



【世帯収入（年収）】

▶ 全体では、「400～600万円未満」が19.1%で最も割合が高く、次いで、「200～400万円未満」が18.1%、「600～800万円未満」が13.2%である。

